

# 2025年度 事業報告書



# CONTENTS

---

2025年度を振り返って .....	02
「関西ビジョン2030～先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気～」概要 .....	03-04
2025年度の事業活動	
■ 地方分権・広域行政 .....	05-06
■ 三方よし・民の力 .....	07-08
■ グローバル・アジア .....	09-10
■ イノベーション .....	11-12
■ DX .....	13-14
■ 環境エネルギー・GX .....	15-16
■ 都市・観光・文化 .....	17-18
■ 雇用労働・D&I .....	19-20
■ スポーツ .....	21-22
■ 経済財政 .....	23-24
■ 国土・インフラ .....	25-26
■ 2025年大阪・関西万博 .....	27-28
■ その他 .....	29-30
■ 関経連の事業とSDGsのつながり .....	31
■ 2025年度の事業項目と公益目的事業項目との関係 .....	32
委員会一覧 .....	33-35
委員会などの主な動き .....	36-48
意見書／会長コメント／報告書 .....	49
運営体制の充実を図るための取り組み .....	49
附属明細書 .....	49

※本冊子に記載の所属・役職については、活動当時のものとなります。

## 2025年度を振り返って 関西のありたき姿の実現へ向けた事業を推進



公益社団法人関西経済連合会  
会長 松本正義

2025年度を振り返りますと、まずあげられるのは2025年大阪・関西万博です。世界各国が大屋根リングの中に集い、未来社会のあり方を考え、交流を重ねることができたことは、万博の意義を再認識させるものとなり、海外における「関西」という地域の認知度も向上しました。

国内においては、少子高齢化と人口減少が需要減少・供給制約をもたらし、ひいては持続的な経済成長実現への影響が危惧されていますが、日本経済は長らく続いたデフレに終止符を打ち、賃金と物価の好循環の芽が生まれつつあります。一方、世界では、いまだ終息を見ないロシアのウクライナ侵攻や中東情勢と、国際秩序に不安が持たれる状況が続きました。

こうしたなか、当会は、「関西ビジョン2030」に基づき精力的に事業を推進してきました。

「地方分権・広域行政」については、関西広域連合が策定する第6期広域計画へ向けた意見書を取りまとめるとともに、関西広域連合等と連名で「関西広域リージョン連携宣言」および「関西広域リージョン連携ビジョン」を公表いたしました。「三方よし・民の力」では、マルチステークホルダー資本主義に基づく企業経営の拡大に向け、政府の会議体などでの意見発信のほか、企業担当幹部の横のつながりの場「坐・三方よし」を開催しました。

「グローバル・アジア」では、アジア・ビジネス創出プラットフォームの総会を大阪で開催し、万博視察や各国経済団体トップとの個別会談を行いました。「イノベーション」では、万博で開催した「Global Startup EXPO 2025」への協力、連携事業の実施に加え、「産総研・関経連うめきたサイト」を活用し、スタートアップ支援などの事業に取り組みました。

「DX」においては、「関西DX戦略2025」に基づき、「関西デジタル・マンス」を開催し、関西におけるDX推進の機運を高めたほか、中堅・中小企業への支援など新たな事業にも着手しました。「都市・観光・文化」では、関西観光本部や文化庁などと連携した取り組みを推進いたしました。

「雇用労働・D&I」に関しては、「企業と労働市場の関係性の変化を踏まえた雇用・労働政策に関する意見」および「外国人材の受け入れ・活躍および地域社会との共生に関する提言」を公表し、政府等への働きかけを進めました。「スポーツ」では、継続事業に加え、来年5月開催予定の「ワールドマスターズゲームズ2027関西」の機運醸成に資する活動などを行いました。

「経済財政」では「健全で持続的な成長へつながる税財政・社会保障制度に関する提言」を取りまとめ、要望活動を実施しました。「国土・インフラ」においては、企業・地域の防災・災害対応力の強化および広域交通ネットワークの早期整備などを訴えてきました。

先行きの情勢は予断を許しませんが、「ONE関西」での取り組みが奏功した万博、そのレガシーをさらに発展させ、関西を新たな発展軌道に乗せるべく、いま一度皆様と想いを一つにし、全力を尽くしてまいります。

# 「関西ビジョン2030～先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気～」 概要

## ポイント

- 2030年に向けて、「**関西のありたき姿**」と、そのありたき姿を実現するための「**関経連の取り組みの方向性**」をまとめた長期ビジョン（2020年12月策定）。
- 全体を貫く基本的なコンセプトは、「**先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気**」。2030年の「ありたき姿」として「**オープンで独創的な価値を生む経済**」「**ヒトを惹きつける舞台**」「**新たな社会モデルのトップランナー**」を掲げ、その実現に向けて「**Look West**」と「**ONE関西**」の視点のもと、関経連として7本の矢を放っていく。

## 全体像





## コンセプト



# 先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気

従来関西は、国内外からヒトを惹きつけ、先駆けた取り組みや変革を通じて時代に応じた社会経済の新たな形をつくりあげてきた。

しかし、バブル崩壊後の「失われた30年」のうちにその心意気が薄れてしまったのではないか。

今こそ関西は、集団で行動する群れから先駆けて飛び立つファーストペンギンの心意気で、先駆けて取り組む企業やヒトを惹きつけ・育むことで新たな価値を生み出す地域になる、また、関西自らが先駆けとなり、社会経済の新たな姿を提示・実践していく。

### 【ファーストペンギンとは】

集団で行動するペンギンの群れの中から、天敵がいるかもしれない海へエサを求めて最初に飛び込むペンギンのこと。転じて、先駆けて新たな取り組みを率先して行う主体のことを例えてファーストペンギンと呼ぶ。



## 7本の矢

～関経連の取り組みの方向性～



### 1 アジアをはじめとする世界との双方向のつながりの強化

- ◆「アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)」推進
- ◆世界における交流拠点としての機能強化  
外国人視点での魅力向上・発信、インバウンドの復活・拡大に向けた先駆的な取り組みの提案

### 2 あっちこっち関西・イノベーションプロジェクト

- ◆企業や大学などの枠を超えた協業や研究開発の活性化につながるイノベーション・エコシステムの構築
- ◆関西各地におけるイノベーション創出や社会課題の解決に向けた多様な主体による混じり合い・協業を促す仕組みづくり

### 3 道州制実現につながる地方分権・広域行政の促進

- ◆関西広域連合の機能強化に向けた取り組み  
広域の視点で実施すべき施策に必要な権限・財源の大胆な移譲に向けた提案
- ◆道州制を含む分権・分散型社会に向けた働きかけ

### 4 三方よしにもとづく「民の力」を効果的に発揮する仕組みづくり

- ◆多様なステークホルダーを意識した新たな時代における企業が果たすべき役割のあり方を浸透させるための仕組みの提唱
- ◆行政などと企業の連携強化に向けた取り組み  
テーマ例：地方の活性化や自然災害・感染症への対策など各社会課題、エネルギー・地球環境問題

### 5 多様な人材が能力を最大限発揮できる環境整備

- ◆活躍の場を求めるヒトを惹きつけ育むNo.1地域に向けた実践  
企業を舞台に活躍したいヒト(まずは女性・留学生)、さまざまな分野で世界に先駆けるヒト(起業家、トップアスリート、アカデミアなど)、一つの組織にとられない・雇用によらない働き方を選択するヒト
- ◆雇用の多様性と流動性の向上に向けた取り組み  
企業の雇用制度・大学教育のあり方、各法制度などに関する先駆的な課題提起

### 6 心身ともに健やかになる活力ある地域づくり

- ◆健康・医療分野におけるデータ利活用の推進
- ◆スポーツ先進地域に向けた取り組み  
「する」「みる」「ささえる」スポーツの活性化、ワールドマスターズゲームズ2027関西のレガシーを創出・継承する仕組みづくり
- ◆文化の継承・発展に向けた取り組み、豊かな人生につながる学びの場の創出に向けた検討

### 7 プロジェクトDX in 関西

- ◆地域としてのDX推進の諸方策をとりまとめたブループリントの策定  
～「関西DX戦略2025」～



関西ビジョン 2030



### 事業項目詳細

#### 地方分権・広域行政

##### 関西広域連合のさらなる発展と地方分権改革の推進

### 主な実施内容

- 内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局を招き、地方創生2.0に関する講演会・意見交換会を開催した（4月）。
- 政府の「地方創生2.0に関する石破茂 内閣総理大臣との意見交換会」に松本会長が出席し（5月）、関西広域連合をはじめとする、府県を越えた広域連携の取り組みを後押しすること等を働きかけた。
- 意見書「関西広域連合『第6期広域計画』策定に向けて」を公表し、関西広域連合に対して中長期ビジョンの策定や組織改革等を働きかけた（7月）。
- 関西広域連合との定例意見交換会を通して、7月に公表した意見書の内容や広域リージョン連携の推進、「新たな広域自治・行政のあり方研究会」の進め方等について意見発信を行った（7、1月）。
- 関西広域連合の「新たな広域自治・行政のあり方研究会」にアドバイザーとして加わり、関西広域連合の組織改革等について意見発信を行った（10、2月）。
- 関西広域連合およびその構成府県市、関西観光本部、関西MaaS協議会、当会の連名で「関西広域リージョン連携宣言」を公表し（10月）、広域産業、広域観光、インフラの維持・管理等の分野に取り組んでいくことを宣言した。また、具体的に広域リージョン連携で取り組む内容をまとめたビジョンを公表した（2、3月）。
- 地方分権改革の推進に向けた世論喚起のため、九州経済連合会との共催で、シンポジウム「関西×九州で考えるこれからの広域連携～道州制を見据えて～」を開催した（3月）。
- メディアや有識者等と意見交換を実施し、当会の考えを発信した。

## 中長期ビジョン策定、組織改革等に向けた関西広域連合への働きかけ

関西広域連合が、広域行政の全国モデルとして存在感をさらに示すことを期待し、2025年7月に意見書「関西広域連合『第6期広域計画』策定に向けて」を公表した。2026年度からはじまる「第6期広域計画」において、「広域行政・地方分権のビジョン」や「関西広域連合の機能強化のための制度設計」等が盛り込まれるよう、関西広域連合との定例意見交換会等を通して働きかけた。

その結果、提案した項目の一部が計画に反映されるとともに、本部事務局の機能強化などの組織・体制のあり方について、関西広域連合で始動した「新たな広域自治・行政のあり方研究会」で検討されることとなった。

### < 関西広域連合 新たな広域自治・行政のあり方研究会について >

研究会メンバー	検討項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関西広域連合 連合委員 (構成府県市の知事・市長)</li> <li>■ アドバイザー(50音順)</li> <li>久木元 美琴 京都大学大学院 准教授</li> <li>谷 隆徳 日本経済新聞社 編集局 編集委員</li> <li>谷口 尚子 慶応義塾大学 法学部 教授</li> <li>新川 達郎 同志社大学 名誉教授 (ファシリテーター)</li> <li>真鍋 精志 関西経済連合会 副会長</li> <li>諸富 徹 京都大学 公共政策大学院 教授</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 広域自治制度について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関西広域連合のこれまでの取り組みや現状をふまえ、成果や課題について検証し、新たな広域自治制度の方向性について検討する。</li> </ul> </li> <li>(2) 権限について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国との関係や、関西広域連合として持つべき権限について検討する。</li> <li>● 府県や政令市との関係や、関西広域連合による市町村事務の補完の必要性等について検討する。</li> </ul> </li> <li>(3) 広域連合として担うべき広域事務について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関西広域連合が担っている7つの広域事務の機能強化や、新たに取り組むべきテーマとともに、そのために必要な組織・体制、人材の確保について検討する。</li> </ul> </li> <li>(4) 財源について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関西広域連合の財源として、現行の負担金制度とともに、課税権を含めた税制のあり方について検討する。</li> </ul> </li> </ul>

※研究会は2025年10月～2026年10月まで合計5回の開催を予定

## 関西における広域リージョン連携の推進

都道府県を越えた広域連携の新たな枠組みとして国により創設された「広域リージョン連携」の全国モデルを目指して、関西広域連合等と連名で2025年10月に「関西広域リージョン連携宣言」を、2026年2・3月に具体的に取り組んでいく内容をまとめた「関西広域リージョン連携ビジョン」をそれぞれ公表した。本宣言に基づき、インフラの維持・管理や産業振興、観光等の分野において府県域を越えた官民での取り組みをさらに加速させていく。

### 関西広域リージョンの構成団体

関西広域連合、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、当会、関西観光本部、関西MaaS協議会

### 関西広域リージョンにおいて取り組む分野

分野	内容
産業振興	公設試験研究機関と多様な機関が連携したシームレスな事業化等の企業支援、万博で披露された最先端技術の実装化・産業化など
観光	万博でさらに高まった関西のブランド力を活かした広域観光の推進
交通	広域型 MaaS アプリ「KANSAI MaaS」の活用によるリージョン内外の移動需要促進など
インフラの維持・管理	官民連携による土木・建築技術人材の活用など
女性活躍推進	女性活躍の推進に向けた機運醸成や意識啓発など
環境	関西脱炭素社会の実現に向けた取り組みなど



宣言公表の様子

### 事業項目詳細

#### 企業制度

##### マルチステークホルダー資本主義の実現に向けた企業制度に関する調査研究と意見表明

### 主な実施内容

#### 仕組みづくり

##### 三方よしに基づく「民の力」を効果的に発揮する仕組みづくり

- 金融庁「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」に松本会長が委員として出席し、マルチステークホルダー経営の実践、開示制度の見直し、「実質」を伴ったガバナンスの追求などについて、意見を表明した（6月）。
  - 金融庁「有価証券報告書の定時株主総会前の開示に向けた環境整備に関する連絡協議会」において、有価証券報告書と事業報告等の一体化や開示制度にかかる横断的な検討の必要性に関して意見を表明した（6月）。
  - 金融庁「サステナビリティ情報の開示と保証のあり方に関するワーキング・グループ」において、企業情報開示のあるべき姿について意見を表明した（4、6、10、11、12月）。
  - 金融庁「サステナビリティ情報の保証に関する専門グループ」において、意見を表明した（4、5月）。
  - 金融庁「ディスクロージャーワーキング・グループ」において、意見を表明した（8、9、10、12月）。
  - 金融庁「コーポレートガバナンス・コードの改訂に関する有識者会議」において、意見を表明した（10、2月）。
  - 経済産業省「『稼ぐ力』の強化に向けたコーポレートガバナンス研究会」において、マルチステークホルダー資本主義の実現に向けた会社法等のあるべき姿について意見を表明した（4月）。
  - 経済産業省「価値創造経営小委員会」において、中長期的な企業価値の向上に向けた経営やコーポレートガバナンスのあり方について意見を表明した（4、10、11、12、3月）。
  - 経済産業省「公正な買収の在り方に関する研究会」において、意見を表明した（2月）。
  - 政府の「新しい資本主義実現会議」において、当会の主張が反映されるよう働きかけを行った（4、5、6、10月）。
  - コーポレートガバナンスに関する動向等について、有識者を招いて講演会を実施し、会員へ情報提供を行った（5、6、7、9、12、3月）。
  - 公正取引委員会委員長を招き、講演会を実施し、価格転嫁・取引適正化をはじめ、競争政策の最新動向や各施策について参加者の理解促進を図った（8月）。
  - 公正取引委員会・中小企業庁「企業取引研究会」において、意見を表明した（7、10、11、3月）。
  - コーポレートガバナンス改革が企業の実務に与えた影響の実態を調査すべく、早稲田大学のスズキトモ研究室とともに、日本経済団体連合会の協力を得て、「開示諸制度の再考に関する研究会」を開催した（10、11、12、2月）。
  - 米国におけるコーポレートガバナンスに関する動向調査のため、米国の経営者団体であるビジネス・ラウンドテーブルほか有識者を訪問した（2月）。
  - 意見書「コーポレートガバナンス・コード改訂に向けた考え方」を取りまとめ、公表した（3月）。
- 
- マルチステークホルダー経営を実践している・関心のある企業が自社事例や問題意識等を共有するなど、横のつながりを形成する場である「坐・三方よし」を開催した（8、2月）。  
(テーマ：社会的価値と経済価値の両立、社内浸透)

## マルチステークホルダー資本主義の実現に向けた政府審議会等での意見表明

当会では、政府審議会等に参画し、マルチステークホルダー資本主義の浸透等の実現に向けた意見表明を行っている。2025年6月に開催されたスチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議では、松本会長が経済団体を代表する立場から発言した。コーポレートガバナンス・コード適用開始から10年が経過し、日本企業の稼ぐ力は一定程度向上した。一方、持続的成長に向けてはなお課題が残るとの認識を示したうえで、今後の方向性として、①株主に偏らないマルチステークホルダー経営の実践、②開示負担の増大をふまえた制度全体の見直し、③形式重視に陥らない実質的ガバナンスの追求の3点を提示し、中長期的視点に立った価値創造と企業と資本市場の信頼関係強化の重要性を強調した。また、2026年夏ごろに改訂が見込まれるコーポレートガバナンス・コードについて、当会の考え方を取りまとめて公表した。

主な主張	発言ポイント
① 株主に偏らないマルチステークホルダー経営の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 顧客・従業員・取引先・地域社会・株主といった多様なステークホルダーへの公平かつバランスの取れた付加価値の分配が必要。</li> <li>✓ コードの序文や各原則で企業経営の考え方や社会的責任を明示することが重要。</li> </ul>
② 開示負担の増大をふまえた制度全体の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 企業の開示負担は増え続ける一方で、中長期的視点に立った経営戦略の立案へのマイナスの影響も懸念。</li> <li>✓ 現在は複数制度にまたがる開示書類が併存し、開示情報の重複も多い上に、コードの改訂により総会前開示を含む開示負担が増大することに懸念がある。開示のあり方全体をレビューする時期に来ており、制度横断での抜本的な見直しが必要。</li> </ul>
③ 形式重視に陥らない実質的ガバナンスの追求	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コーポレートガバナンスは、企業の業種・業態・規模・成長段階や取り巻く環境に応じた柔軟な設計が必要。形式的な一律整備にとどまらず、実質を重視する対応が求められる。</li> <li>✓ ROE・PBR偏重が安易な自社株買いを招くことを懸念。</li> <li>✓ 内部留保は単なる現預金のため込みにとらえず、将来投資の原資やリスクへの備えとして議論すべき。</li> </ul>

## 米国「ビジネス・ラウンドテーブル」等との意見交換を実施

2026年2月、松本会長および当会幹部が渡米し、米国におけるマルチステークホルダー資本主義の潮流の変化やコーポレートガバナンスの最新動向について意見交換を実施した。現地では、米国の経営者団体「ビジネス・ラウンドテーブル（BRT）」をはじめ、米国証券取引委員会、連邦議会の関係者、機関投資家、法律家、学識経験者等と面会し、2019年にBRTが公表した「企業の目的に関する声明」以降のマルチステークホルダー経営の位置づけや、企業経営をめぐる制度・政策動向について意見を交わした。そのなかで、四半期開示制度や議決権行使助言会社の影響力、株主提案権の見直しなど、企業の短期志向との関係が指摘される論点等について幅広い見解が示された。

今回の意見交換で得られた示唆をふまえて、政府の政策形成に当会の意見が適切に反映されることをめざし、今後も政府や関係省庁等への働きかけや各種取り組みを進めていく。



米BRTへの訪問の様子

### 事業項目詳細

#### ABCプラットフォーム

「アジア・ビジネス創出プラットフォーム  
(ABCプラットフォーム)」の推進

### 主な実施内容

- ABCプラットフォームの第4回全体会議を大阪で開催した(4月)。ABCプラットフォームの活動状況を共有するとともに、ABC CHALLENGE サポートプログラム参加企業による成果報告を行い、各国経済団体の代表者による意見交換を行った。また、松本会長と各国経済団体トップとの個別会談を実施し、各国と日本が共通して抱える社会課題を具体的に取り上げ、議論した。
- 6つのテーマ別部会(人材育成・活用、中堅・中小企業支援、農業、観光、環境、スタートアップ)において、日本および各国の企業・団体等と連携し、ビジネス創出に向けた取り組みを推進した。
- 日本企業との協業や日本市場に関心を持つASEAN企業に対し当会がビジネス支援を行う「ABC CHALLENGE サポートプログラム」の取り組みを推進した。個別商談や企業視察をアレンジし、商談の成立につなげた。

#### 人的ネットワーク

アジア各国における人的ネットワークの強化

- 第46回「関経連アセアン経営研修」を実施、10カ国16名の研修生が参加した(1月)。「万博後、日本とアジアが協力してとるべきアクションとは」をテーマに、関西のイノベーション、新事業、リジェネレーション、サステナビリティおよび人材育成に関連する企業や関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)を視察したほか、経営者や経営幹部との意見交換、ABCプラットフォームのテーマ別部会のプロジェクトマネージャーとの面談を実施した。

#### 各国との連携強化

各国政府・経済界との連携強化

- 大阪・関西万博の開催期間中、「大阪海外ビジネスワンストップ窓口」との連携によりビジネス交流機会に関する情報収集に努めるとともに、「万博ビジネス交流パートナーズ」の枠組みを通じて、海外要人の来訪を含む各国との交流機会の情報を会員企業に円滑に提供し、海外とのビジネス交流拡大につなげた。
- 中国との経済関係の強化および中国政府のサプライチェーン政策や同国のマーケット動向の把握のため、第3回中国国際サプライチェーン促進博覧会に参加した(7月)。
- 各国の在日大使館、在関西総領事館、各国経済団体の表敬訪問を受けたほか、訪日海外要人との懇談、関係機関と連携したセミナー・講演会等を行った。
- 経済安全保障に関する講演会を開催し、企業の国際活動に資する情報発信を行った(10月)。
- 在関西総領事館 総領事に加えて大阪・関西万博公式参加国の政府代表等の関係者を対象に「大阪・関西万博の成功を共に喜び会」として関経連インターナショナル・クラブ(KIC)を開催した(11月)。
- AIの先進事例の把握、オープンイノベーションやスタートアップ・エコシステム、トランプ政権の政策動向の影響と対応等の調査のため、米国・カナダ経済調査団を派遣した(3月)。

## ABCプラットフォーム第4回全体会議を開催

アジア・日本におけるビジネスの創出、経済の活性化を目的としている「ABCプラットフォーム」では、2025年4月に第4回全体会議を大阪市内で開催し、当会から松本会長、鈴木国際委員長、和田アジアビジネス専門委員長ら、ASEAN各国から経済団体代表を含む約70名が参加した。会合では、テーマ別部会の活動報告や「ABC CHALLENGE サポートプログラム」の成果報告に加え、ABCプラットフォームのさらなる発展について各国代表が議論した。また、新たな取り組みとして、松本会長と各国経済団体トップとの個別会談を実施し、社会課題などについて意見交換を行ったほか、大阪・関西万博を視察し、関西とASEANの経済界との絆を深めた。

<テーマ別部会活動報告>

テーマ別部会名	主な報告内容
人材育成・活用	国際人材活用ネットワーク交流会、ベトナム、インドネシアとの交流会の開催、各国との連携活動
医療・介護	日本の高い医療技術のASEAN各国への紹介、介護人材に関するセミナー開催等の取り組み
中堅・中小企業支援	海外進出を企図する中堅・中小企業向けのセミナー開催、ビジネスマッチング活動
環境	ABC CHALLENGE サポートプログラム参加企業に対するマッチング実現に向けた支援活動
スタートアップ	シンガポールのコワーキングスペースとの連携協定締結とスタートアップへの相互支援開始の取り組み



ABCプラットフォーム第4回全体会議の集合写真

## 米国・カナダ経済調査団を派遣

2026年3月、鈴木国際委員長を団長とする19名の経済調査団を米国（サンフランシスコ、シリコンバレー）およびカナダ（バンクーバー）に派遣した。米国では、ジェトロ・サンフランシスコ事務所をはじめ、Berkeley SkyDeck、USMAC、Plug and Playなどのアクセラレーターや、住友商事Presidio Ventures、Daikin Open Innovation Lab Silicon Valleyといった現地に進出している日本企業等を訪問した。カナダでは、ブリティッシュ・コロンビア州貿易投資局、ブリティッシュ・コロンビア大学、バンクーバー商工会議所、カナダ三菱商事のほか、ベンチャーキャピタルのPangaea等を訪問した。各訪問先を通じて、AIの先進的な取り組みやオープンイノベーションの実態、スタートアップ・エコシステムに関する理解を深めた。当会では、今回の経済調査団派遣で得られた成果を今後の活動に反映し、引き続き関西の活性化に貢献していく。



Plug and Play訪問の様子

### 事業項目詳細

#### 起業街道・関西

「起業街道・関西プロジェクト」の推進

#### あっちこっち関西

「あっちこっち関西・イノベーションプロジェクト」の推進

#### 万博レガシー

万博レガシーとなるイノベーションを社会実装する  
関西の実現

#### 科学技術・産業振興

持続的な経済成長を支える科学技術・産業振興の強化

#### けいはんな

けいはんな学研都市のイノベーション拠点強化に  
向けた支援

### 主な実施内容

- 内閣官房デジタル行財政改革会議の最新の取り組みを紹介し、社会課題の解決やローカルビジネスに取り組む事業者とディスカッションを行うシンポジウムを開催した（6月）。
- 国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」を起点とするスタートアップ、およびDXに資するスタートアップ・大学研究室との連携を図るピッチイベントを開催し、優れた技術・サービスを有するスタートアップ等と企業とのマッチングを実施した（9、10月）。
- 大阪・関西万博の会場にて、経済産業省等の主催で開催された「Global Startup EXPO 2025」に協力した（9月）。
- 日本経済団体連合会とともに、主に首都圏で活動するスマートシティ関連のスタートアップが登壇するピッチイベントを開催し、関西企業との連携を図った（12月）。
- オープンイノベーション、スタートアップ連携に取り組む企業の実務担当責任者の意見交換会を実施し、課題の共有とネットワークの形成を行った（6、11月）。
- 関西CVC交流会を開催し、コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）や新規事業担当者のネットワーク構築をはかるとともに、最新のCVC動向について情報提供した（11、1月）。
- 蓄電池、バイオ接着剤、サーキュラーエコノミーをテーマとしたセミナーを産業技術総合研究所と共催し、企業の事業化ニーズとのマッチングを図った（4、9、11月）。
- 丹波の木材事業者と百貨店とをマッチングし、百貨店の改装における丹波産木材の使用につなげた。
- 兵庫県丹波県民局とともに、森林の保全や国産木材の積極活用について知見を深めるセミナーを開催した（6月）。また、「丹波の森視察交流ツアー」を開催し、木材の伐採から製品化までの行程を見学し、丹波の木材事業者との交流を深め、企業連携の促進に取り組んだ（7月）。
- 舞鶴市とともに、「まいづる親善大使就任記念・舞鶴高専アントレプレナーシップ推進フォーラム」を開催した（10月）。
- 丹波地域への観光や研修での来訪を促進するため、関連する事業者を対象とした「兵庫県丹波地域モニターツアー」を開催した（11月）。
- 大阪・関西万博で披露された新技術・サービスの社会実装に向けた推進体制等の構築について、国、地元自治体等と検討を進めた。
- 医療機器・ヘルスケアに関する国内最大級の国際見本市である「Japan Health」を後援するとともに、関連事業として参加者や総領事館等を対象に、健康・ウェルビーイングに強みのある関西の共創拠点をめぐる視察会を開催した（6月）。
- 「次世代空モビリティ実務者会合」を設立し、関西での早期の社会実装に向けた議論を行ったほか、大阪港パーティポートの残置の要望を実施し（9月）、残置を実現した。加えて、地元自治体や国等と連携しながら関西における空飛ぶクルマの将来ビジョンを作成し、公表した。
- 新型コロナウイルス基金研究開発プロジェクト成果報告会を開催した（11月）。
- 水素関連技術の発信と、中堅・中小企業の水素産業への参入機運を醸成する場として、近畿経済産業局と共催で「第6回関西水素産業交流ラウンジ」を開催した（1月）。
- 関西広域連合域内の公設試験研究機関を核に、企業の研究開発から事業化までを支援する「関西広域産業共創プラットフォーム」事業を本格稼働し、計101件の相談が寄せられた。
- 「関西航空機産業プラットフォームNEXT」にて、政策動向やサプライチェーン強靱化、空飛ぶクルマに関するセミナーや意見交換、関係者の交流会を行った（8、9、10、2、3月）。
- 経済産業省と文部科学省から講師を招き、博士人材の活躍促進をテーマに講演会を開催した（9月）。
- スーパーコンピューター「富岳」、および量子コンピューターの視察会を実施した（10月）。
- 大阪・関西万博の開催に合わせて開催された「けいはんな万博」の主催団体のひとつとして、「けいはんな万博in夢洲」等を主導した。けいはんなの強みや歴史・文化等を万博会場やうめきたなどで発信し、けいはんなの認知度向上に貢献した（4、9月）。
- 関西文化学術研究都市建設推進協議会による政府要望を実施し、ポスト万博を見据え、「第7期科学技術・イノベーション基本計画」におけるけいはんなの位置づけ、京阪奈新線の延伸をはじめとする都市基盤整備を要請した（7月）。
- 国、地元自治体、立地機関等とともに「けいはんな学研都市第5期ステージプラン〜ポスト万博シティけいはんな〜」を取りまとめ（3月）、社会実装、イノベーション推進、文化創造、都市形成を推進する体制を構築した。

## 大阪・関西万博会場にてけいはんな万博2025関連イベントを実施

関西文化学術研究都市（以下、けいはんな）では、大阪・関西万博の会期に合わせて「未来社会への貢献～次世代への解～」をテーマに、けいはんな万博2025を開催した。主催者であるけいはんな万博2025運営協議会\*は、関連イベントの一つとして、万博会場にて「けいはんな万博in夢洲～しろう！ふれよう！けいはんな～」を2度にわたって開催し、けいはんな地区に立地する企業や研究機関、自治体計16団体が参画し研究内容を体験できるブースを設置したほか、科学実験などのワークショップを通じてけいはんなの強みや歴史、文化を発信し、のべ5,000人が来場した。閉幕後には、けいはんな万博2025の成果をふまえて、今後けいはんながめざすべき都市像を示した「けいはんな宣言」が発せられた。当会としても、けいはんなのイノベーション拠点強化のため支援を続けていく。

\*関西文化学術研究都市推進機構、大阪府、京都府、奈良県、当会ほか



けいはんな万博開会式



けいはんな万博in夢洲 会場の様子



## Global Startup EXPO 2025への協力

ディープテック領域を中心としたスタートアップの技術・サービスの世界への発信、国内外の起業家、投資家の交流促進を目的として、「Global Startup EXPO 2025 (GSE)」が2025年9月17日・18日の計2日間、大阪・関西万博の会場で経済産業省等の主催により開催された。当会は構想当初から企画立案に協力し、会員企業への周知、参加呼びかけに注力した。初日は、スタートアップ・エコシステムに関してさまざまなディスカッションが行われ、岸田文雄 元内閣総理大臣も登壇した。当会からは、澤田副会長/スタートアップ・エコシステム委員長が、「グローバル視点で描く関西スタートアップエコシステムの未来」と題したパネルディスカッションに登壇し、関西ひいては日本のエコシステムを活性化する重要性について説いた。2日間で37のセッションが開催され、21の地域から145社がブース出展し、参加者は9,500人に達した。

当会は今後も、関係機関と協力して大阪でグローバルなスタートアップイベントを継続開催し、関西のスタートアップ・エコシステムのグローバル化を推し進めていく。



会場の様子



澤田副会長の登壇の様子



松本会長の視察の様子

## 事業項目詳細

## 「関西DX戦略2025」

## 地域・企業におけるDX推進に資する取り組み

## 主な実施内容

- 関西のDXの機運醸成を図るため、「関西デジタル・マンス」を開催した（10月）。
- 関西企業のDXに関する取り組みを表彰する「KANSAI DX AWARD 2025」を開催し、合計9社を表彰した。受賞企業の取り組みをDXの先進事例として関西デジタル・マンスのクロージングイベントやJapan DX Week等の場で広く発信した（10、11月）。
- 大阪・関西万博で活用されたIOWNや顔認証技術などの新たなデジタル技術やその活用方策に関するセミナーを開催した（10月）。
- 関西情報センターとともに、経営層を対象としたサイバーセキュリティに関するセミナーを開催した（10月）。
- DX人材育成を目的に、奈良先端科学技術大学院大学にて「デジタルキャリア講座」を開講した（5～8月）。
- 事業連携をめざすスタートアップと大企業をつなぐピッチイベントとして、DXオープンイノベーションフォーラムを開催した（10月）。
- 「ICT・IoT・AI等活用事例集」に、生産性向上や付加価値向上等に向けた企業の取り組みを追加掲載した。
- 生成AIの将来性や人材育成、および全社的なDX推進の事例等について講演会を実施し、会員企業への情報提供を行った（7、10月）。
- データ活用を通じたモデルケース創出等について検討する「関西広域データ活用 官民研究会」を関西広域連合とともに開催した（8月）。
- 都市OSワーキングにおいて、関西広域連合・大阪府との共催で「データ連携基盤の共同利用普及促進セミナー」を開催し（9月）、データ連携基盤の共同利用や広域ユースケースの導入効果について議論したほか、スタートアップ4社による防災DXに関するピッチ「防災DXピッチ&トークイベント」を開催した（1月）。
- 中堅・中小企業のDX推進を目的に、大阪商工会議所や中小企業基盤整備機構等とともに「関西DX支援機関ネットワーク」を立ち上げ、6月より開始したトライアルにおいて、各組織が主催するイベントへの後援や登壇、相互PR等を行った。
- 関西におけるDX・デジタル化の状況や、AIの興隆等の動向をふまえ、2030年に向けて「関西DX戦略」のアップデートを行った。

## 「関西DX戦略2025」に基づく取り組み～「関西デジタル・マンス」～

当会は、2022年に策定した「関西DX戦略2025」に基づき、関西のDX推進に資する8つの事業を推進している。

その一つである「関西デジタル・マンス」は、当会を事務局とする関西デジタル・マンス実行委員会\*が2023年度に創設した取り組みで、毎年10月を関西広域でのDX推進強化月間として定め、官民連携によりさまざまな事業を実施するものである。2025年度は期間中に実行委員会や協力団体主催のセミナー・イベント等約120件を集中開催し、機運醸成を図った。

「関西デジタル・マンス」の締めくくりとして10月末に開いたクロージングイベントでは、竹村彰通 滋賀大学学長および長崎忠雄 OpenAI Japan代表執行役社長による生成AIをテーマにした講演、トークセッションを実施した。

また、DXに先進的に取り組む関西企業を表彰する「KANSAI DX AWARD 2025」を開催し、宮田裕章 慶應義塾大学医学部教授を審査委員長に迎え、グランプリに旭光電機、各賞に8社を選出し、クロージングイベントにおいて表彰式を執り行った。

加えて、当AWARD受賞企業の取り組み紹介のため、2025年11月にインテックス大阪で開催された「Japan DX Week」においても、特設ブース展示・カンファレンス登壇を行い、先進事例を広く発信した。

上記の取り組みを通し、関西のDX推進の機運醸成および、DX先進地域としての関西というブランド力の向上に努めた。

\*当会、関西広域連合、総務省 近畿総合通信局、経済産業省 近畿経済産業局、関西情報センター、情報処理推進機構、中小企業基盤整備機構

### 関西DX戦略2025 概要

5つの観点	8つの取り組み
機運醸成	1. 「関西デジタル・マンス」の開催
	2. 表彰制度(KANSAI DX AWARD 2025)の実施
経営層のコミットメント	3. 「DX-Dojo」の開催
人材育成・技術活用	4. デジタルキャリア講座等の開催
	5. デジタル技術活用やサイバーセキュリティについてのセミナーの実施
産官学連携・ 地方公共団体との協働	6. 大学やスタートアップ等と企業のマッチング・連携拡大
	7. 関西広域での統一基準に基づく、オープンデータ化、データ連携基盤構築の促進
先導的プロジェクト	8. スマートシティの実現に向けた官民一体となったデータ連携・先端的技術活用の検討



クロージングイベント講演登壇者  
(左から、橋本 DX委員会副委員長、  
竹村学長(滋賀大学)、長崎社長(OpenAI Japan))



KANSAI DX AWARD 2025  
受賞者



Japan DX Weekのブース展示の様子

### 事業項目詳細

#### S+3Eに基づくエネルギー政策

GXによるカーボンニュートラルと経済成長および  
S+3Eに基づくエネルギー政策の実現に向けた取り組み

### 主な実施内容

- 環境・エネルギーをめぐる最新動向（気候変動、生物多様性、エネルギー政策等）についての情報提供および理解促進を目的に、有識者を招いた講演会を実施した（7、10、12、1、3月）。
- 水素の社会実装に関する先進的な技術・取り組み等への理解促進を目的に、羽田イノベーションシティ内のソーシャルイノベーション共創拠点「CO-CREATION PARK KAWARUBA」の視察会を実施した（7月）。
- 関西広域連合の「関西広域環境保全計画に関する有識者会議」に出席し、同計画の改訂に関する議論に参画した（7、12月）。
- 福井県の原子力発電所立地自治体の首長、議会議長を招き、わが国のエネルギー・原子力政策等に関する意見交換会を開催するとともに、大阪・関西万博を視察した（9月）。
- 次世代層がエネルギーや環境問題をより身近に感じられる機会を創出することを目的に、「第1回 関西エネルギー探究フィールドツアー」を実施した（3月）。

## 脱炭素社会の推進に向けた取り組み

国際情勢の緊迫化によりエネルギー供給をめぐる不確実性が高まるとともに、DXの進展やGXに伴う電化の拡大等を背景として、中長期的な電力需要の増加が見込まれている。こうしたなか、政府は2025年2月、「第7次エネルギー基本計画」および「GX2040ビジョン」を閣議決定し、エネルギーの安定供給、経済成長、脱炭素の同時実現に向けた政策の具体化を進めている。

こうした国内外の情勢をふまえ、当会では、会員企業における事業判断・投資判断に資することを目的として、政策動向の把握および情報提供を行うとともに、主要論点の整理、エネルギー関連施設等の視察を通じた実態把握、関係者間の対話の機会創出を一体的に推進した。

取り組み項目	具体的な取り組み
カーボンニュートラル実現に繋がる政策・技術やグローバルな環境問題についての情報収集、理解促進	政府審議会等における議論動向を継続的に把握し、論点整理を行ったうえで環境・エネルギーをめぐる最新動向（気候変動、生物多様性、エネルギー政策等）について、有識者を招いた講演会を実施し、会員企業への情報提供および理解促進を図った。 政策・市場の変化を現場でとらえる観点から、水素の社会実装に関する先進的な技術・取り組みへの理解促進に向け、羽田イノベーションシティ内のソーシャルイノベーション共創拠点「CO-CREATION PARK KAWARUBA」の視察会を実施した（7月）。
原子力の事業環境などに関する会員企業の理解の促進、電源立地地域の理解促進に向けた取り組み	エネルギー・原子力政策をめぐる課題について、福井県の原子力発電所立地自治体の首長・議会議長を招き、意見交換会を開催するとともに、大阪・関西万博を視察し、電源立地地域と消費地域との相互理解の深化を図った（9月）。
次世代層の理解促進に向けた方策の検討・実施	環境・エネルギー問題に関する理解の裾野拡大を図る観点から、若手社員を中心に次世代層が同分野をより身近に感じられる機会として「第1回 関西エネルギー探究フィールドツアー」を実施した（3月）。



福井県原子力発電所所在市町協議会との意見交換および大阪・関西万博視察の様子



KAWARUBA視察の様子



関西エネルギー探究フィールドツアーの様子

### 事業項目詳細

#### まちづくり

京阪神都市圏を中核とする都市魅力の向上

#### 観光・文化

万博を契機とした関西の観光・文化振興に向けた  
環境整備

### 主な実施内容

- 「夢洲第2期区域マスタープランVer.2.0（案）」に関する意見募集に対して、意見表明を行った（7月）。
- 新大阪駅周辺地域におけるまちづくり方針に基づき、地元のまちづくり団体等と、今後の具体的な取り組みについて協議を行い、現状の課題を共有するとともに、新大阪駅周辺エリアの将来像について検討を実施した。
- 関西・大阪都心部東西軸の活性化と都市ブランディングの強化に向けた調査研究を進めた。
- 京阪神都市圏の都市魅力の向上を目的として、神戸市のGLION ARENA KOBE（5月）、および名護市大規模プロジェクトの視察会（7月）を実施した。
- 関西観光本部が設立した「EXPO2025関西観光推進協議会」の取り組み「万博プラス関西観光推進事業」のワーキンググループに参画した。
- 観光・MICEのさらなる促進を図るべく、都市・観光・文化委員会に「観光」「MICE」の2つのワーキンググループを組成し、観光やMICEに関する課題や必要な施策について検討を行った。
- 文化庁主催の「MUSIC LOVES ART 2025」の開催に協力した（8月）。
- BIZ+MUSEUM KANSAI実行委員会との共催で、都市・観光・文化委員会講演会を京都文化博物館で開催した（11月）。

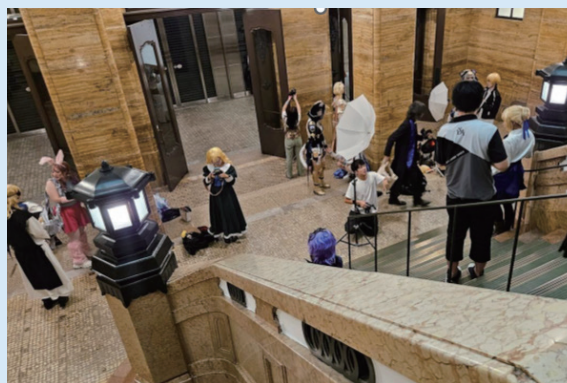
## ナイトタイムエコノミーの推進に向けて ～美術館・博物館と経済界が連携し、新たな夜間の価値を創出～

当会は、美術館、博物館の相互の連携やネットワークの形成により、夜の時間帯における新たな文化価値の創出や文化と経済の好循環の実現を図るため、京都市、京都府、滋賀県、神戸市、企業等とともに、BIZ+MUSEUM KANSAI 実行委員会を組織し、活動を進めている。

2025年度は新たに神戸市立博物館も参画し、京都市京セラ美術館、京都府京都文化博物館、滋賀県立美術館とともに夜間開館やビジネスパーソン向けの鑑賞会やワークショップなどを開催し、美術館、博物館と経済界との連携という独自性を活かしたビジネスモデルの構築にも取り組んだ。



館内地下講堂を活用した音楽ライブの様子  
「KOBE NIGHT LOOP」(神戸市立博物館)



夜間貸切撮影会「acosta！」の様子  
(京都市京セラ美術館)



ビジネスパーソン向けの展示見学会の様子  
(京都府京都文化博物館)



みんなでつくる！みんなで楽しむ！美術館の夏祭り！の様子  
(滋賀県立美術館)【おさんぽカメラ提供】

## シンポジウム「アートを活かした街づくり」を開催

2025年11月、BIZ+MUSEUM KANSAI実行委員会とともに「アートを活かした街づくり」と題したシンポジウムを京都文化博物館別館にて開催した。

第1部では、京都を拠点に文化財や伝統工芸に関する企画・ブランディング等を手がける京都村正の代表村山和正氏が登壇し、文化の継承と発信のバランスを探りながら地域の文化を次世代へとつなぐ取り組みを紹介した。続いて、エーシーケー理事の服部陽子氏がアート市場の活性化と文化による多様な価値創出をめざす日本最大級の現代美術アートフェア「Art Collaboration Kyoto」の取り組みについて講演した。

第2部では文化庁審議官の松坂浩史氏、京都府文化生活部理事の大石正子氏、オリジナル代表取締役/タイムアウト東京代表の伏谷博之氏をパネリストとして迎え、地域や産学官が連携することによって生まれるアートの可能性について議論を深めた。



パネルディスカッションの様子

### 事業項目詳細

#### 雇用・労働

雇用・労働のあり方に関する調査研究・課題提起

#### D & I 推進

活躍の場を求めるヒトを惹きつけ、多様性と成長力を高める取り組み

#### 人事・労務課題

人事・労務課題の解決支援

### 主な実施内容

- 育成や配置を含む人材マネジメントのあり方について、企業と個人の双方の“見える化”を進める重要性に焦点をあて、企業の取り組みの方向性を多様な事例とともに示した『「人への投資」に関する報告書』を公表した（5月）。
- 雇用・労働政策に関して、主に柔軟な働き方と円滑な労働移動に焦点をあて、「企業と労働市場の関係性の変化を踏まえた雇用・労働政策に関する意見」を公表し（12月）、要望活動を実施した（1月）。
- 雇用・労働に関する時宜を得たテーマを設定し、講演会などを通じた情報提供を行った（7、10月）。
- 「D & Iガイドライン」の制度運用上のポイント・工夫に、「D & Iを全社課題へ変える～『トップコミットメントの浸透』に向けたポイントと企業事例にみる工夫～」を追加した（6月）。
- 会員企業におけるD & Iの取り組み状況に関するアンケート調査を実施し（7月）、希望する企業に調査結果の個別フィードバックを行った（2月）。
- グローバル人材活用運営協議会の総会を開催するとともに、日本における留学生受入れの現状と課題について、講演会を開催した（7月）。
- 女性の役員・部長クラスを対象とする「女性のエンパワーメント交流会」を開催し（8、11、3月）、経営者視点で物事を考えるための視野拡大や、企業の枠を超えたネットワーク形成に資する機会を提供した。
- 関西高度外国人材活躍地域コンソーシアムの事業として、留学生の活躍を支援すべく、留学生向けセミナーと企業と留学生との交流会を開催した（10月）。
- D & Iに関する時宜を得たテーマを設定し、講演会などを通じた情報提供を行った（5、6、9、10月）。
- 第4回関西連D & Iフォーラムを開催し（12月）、企業において多様性を推進することの重要性を訴えるとともに、企業間で連携してD & Iを推進している具体的な事例紹介を交えたパネルディスカッション等を実施した。
- 外国人材の受け入れ拡大に伴う現状や課題をふまえ、企業に求められる対応と政府への要望項目を整理した「外国人材の受け入れ・活躍および地域社会との共生に関する提言」を公表し（12月）、要望活動を実施した（1月）。
- 労働情報月報（毎月発刊）等を通じ、人事労務に資する情報提供を行うとともに、労働情報講演会（8、9、12、2月）において、外国人材の受け入れ・共生に向けた国の動き、労働条件の変更、行政指導への対応、ハラスメント対策、障がい者雇用等に関する最新情報を提供し、企業の対応支援を図った。
- わが国の賃金水準や足元の物価動向などの状況をふまえ、「2026年春季労使交渉に向けての基本的な考え方」をとりまとめ、会員企業に賃上げを呼び掛けた（1月）。また、連合大阪と労使セミナー（10月）を開催し、労働基準法改正に向けた情報提供をするとともに、大阪労使会議（2月）を開催し、2026年春季労使交渉の考え方などについて意見交換を行った。

## 「企業と労働市場の関係性の変化を踏まえた雇用・労働政策に関する意見」の公表・要望活動

わが国の雇用・労働を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化、AIをはじめとする技術革新の進展、そして働き方やキャリア観の多様化によって、大きな変化の局面を迎えている。限られた労働力のもとで力強い経済成長を実現していくためには、個人のパフォーマンスを高める環境整備を進めることや、官民連携による労働力需給のミスマッチの解消を進めていくことが必要となる。

こうした考え方のもと、2025年12月に「企業と労働市場の関係性の変化を踏まえた雇用・労働政策に関する意見」を公表し、2026年1月には、意見書の内容を政策に反映させるべく、政府・与党へ要望活動を行った。

### < 要望項目 >

- (1) 自律性・柔軟性・職場実態を重視した働き方法制  
(裁量労働制・高度プロフェッショナル制度の活用拡大による働き方の複線化 等)
- (2) 円滑な労働移動を促す環境整備  
(失業給付等のあり方見直し、解雇無効時の金銭解決制度の創設 等)



宮本 労働政策委員長による記者会見の様子



神谷厚生労働大臣政務官への要望

## 「外国人材の受け入れ・活躍および地域社会との共生に関する提言」の公表・要望活動

わが国は、人口減少・少子高齢化、グローバル化の進展といった大きな変化の中にあり、労働力の確保と持続的成長に向けて、外国人を含む多様な人材の活躍が不可欠となっている。こうした背景をふまえ、2025年12月に「外国人材の受け入れ・活躍および地域社会との共生に関する提言」を公表し、2026年1月には、提言の内容を政策に反映させるべく、政府・与党へ要望活動を行った。

### < 要望項目 >

- (1) 企業活動のニーズに即した留資格制度の見直し  
(「技術・人文知識・国際業務」の履修専攻科目と業務内容の関連性要件の撤廃、「卒業生ビザ」の創設 等)
- (2) 地域ごとの実情に応じた、官民が一体となった多文化共生への支援  
(自治体等が柔軟に活用できる財政支援 等)



柿原 D&I専門委員長による記者会見の様子



小林自由民主党政務調査会長への要望

### 事業項目詳細

#### 「関西スポーツ振興ビジョン」

関西広域・産官学の連携による  
「関西スポーツ振興ビジョン」で掲げた  
4本柱の取り組みの一体的・継続的推進

### 主な実施内容

- 自治体等が主催するスポーツイベントの魅力向上やスポーツ参加の裾野拡大を目的に、実業団選手・チームを有する企業の協力を得てアスリート派遣事業を実施した。また、ジュニアアスリートを対象とした派遣事業を実施した。
- 関西広域連合と合同で「第7回関西スポーツ応援企業表彰」を実施し、スポーツを通じて従業員の健康増進や地域経済の活性化に貢献している企業5社、審判員6名を表彰した（1月）。
- 「女性の健康と運動・スポーツ」をテーマにD&I専門委員会と共催で講演会を実施した（9月）。
- 関西各府県スポーツ協会から推薦された計58名のジュニアアスリートに対して医科学測定会を実施した。種目：陸上（トラック、投擲）、ホッケー、カヌー、野球、バスケットボール、ハンドボール
- ワールドマスタースゲームズ2025台北市・新北市大会の閉会式に松本会長が出席し、大会旗を引き継ぐとともに、次回2027年の関西大会への参加を呼びかけた（5月）。
- 大会組織委員会と連携し、ワールドマスタースゲームズ2027関西の機運醸成に向け、国内外の主要なスポーツ競技大会や万博等での広報活動、大学や企業に対して参加呼びかけの協力依頼を行った。
- コーポレートゲームズジャパンin東大阪（10月）など関西各地のスポーツイベントの盛り上げを支援した。
- 関西広域連合、ワールドマスタースゲームズ2021関西組織委員会とともに、「WMG2027関西 決起大会&記念シンポジウム」を開催し、一丸となって大会を盛り上げることを宣言した（12月）。

## ワールドマスターズゲームズ2027関西に向けた取り組み

ワールドマスターズゲームズ2027関西の参加機運醸成のため、2025年12月、関西広域連合、ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会とともに「WMG 2027関西 決起大会&記念シンポジウム」を開催し、関西の企業、経済団体、自治体などから約300名が参加した。

決起大会では、組織委員会の松本会長（関経連会長）、三日月大造会長（関西広域連合長）をはじめ、応援大使の武井壮氏、国会議員、各府県議員らを迎え、一丸となって大会を盛り上げることを宣言した。続くシンポジウムでは、東京2025世界陸上財団会長の尾懸貢氏が「スポーツがつくる豊かな社会」をテーマに基調講演を行った後、関西スポーツ医・科学サポートコンソーシアムアドミニストレーターの馬淵博行氏が事業報告を行った。パネルディスカッションでは、日本たばこ産業理事・大阪支社長の嶋田有里菜氏、テニスプレーヤーの伊達光子氏、東京パラリンピック銅メダリストの堀越信司氏をパネリストに迎え、参加型の国際大会としてのWMGの特徴である「するスポーツ」や「国際交流」の貴重な機会をいかに活かすかなど、活発な議論が交わされた。



決起大会の様子



シンポジウムの様子

## 第7回関西スポーツ応援企業表彰

2026年1月、関西広域連合とともに第7回「関西スポーツ応援企業表彰式」を開催した。同表彰は、スポーツを通して地域の活性化や従業員の健康増進などに継続的に取り組んでいる企業と企業所属の審判員を表彰するもので、表彰式では、受賞企業や審判員の取り組み内容を紹介し、三日月関西広域連合長、松本会長から受賞者へ表彰状を贈呈した。

<受賞企業および受賞理由>

賞	受賞企業	受賞理由
大賞	NTTデータ関西	関西を拠点としたスポーツ振興と持続可能な社会づくりに取り組む挑戦
スポーツ振興賞	明治安田生命保険	スポーツ支援を通じた健康増進・地域貢献～2「大」プロジェクトにおけるスポーツ協賛～
地域振興賞	南海電気鉄道	eスポーツを通じた地域活性化
健康経営賞	日吉	アスリートの雇用・支援および社員の健康活動促進
特別賞	サンコー	スポーツ分野への総合的支援、健康経営の促進

<受賞審判員の所属および対象スポーツ>

所属	対象スポーツ
社会福祉法人 健祥会	ゲートボール
社会福祉法人 桜梅会	陸上
本田技研工業	カヌー
海南市役所	陸上
日本郵便	バスケットボール
生晃栄養薬品	サッカー



表彰式の様子

### 事業項目詳細

#### 財政健全化と経済成長の両立

##### 財政健全化と経済成長の両立に向けた調査研究・提言

### 主な実施内容

- 「健全で持続的な成長へつなげる税財政・社会保障制度に関する提言」を取りまとめ、公表するとともに(10月)、要望活動を実施した(11月)。意見書では、給付付き税額控除の一類型である「社会保険料軽減付き税額控除」の制度設計やその導入のための環境整備など分厚い中間層の形成に向けた税制・社会保障制度の改革、令和8年度税制改正にあたっての要望項目などを盛り込んだ。
- 「財政を考える研究会」を開催し(4、5、7、8月)、財政健全化が必要な理由や今後進めていくにあたって有効と考えられる方策などについて取りまとめた。
- 財務省「財政制度等審議会財政制度分科会」において、財政制度や財政運営のあり方に関する当会の考えなどを発信した(4、5、11、12、3月)。
- 「国際金融都市OSAKA」の実現に向けて、「国際金融都市OSAKA戦略」を改訂する各種部会等に参画し、必要な施策や環境整備などについて意見発信するとともに、事務局である大阪府・市を支援した。

#### 関西経済の把握・発信

##### 関西経済の動向・実態の把握と情報発信

- 日本銀行総裁との懇談会(10月)や財務省との意見交換会(11月)において、関西経済の現状を紹介するとともに、財政・金融政策のあり方や経済の好循環の実現に向けた経済界としての貢献、万博レガシーの継承・発展の重要性などについて意見発信した。
- 大阪商工会議所と共同で「経営・経済動向調査」を実施、公表した(四半期ごとの定点観測)。また、「景気動向研究会」の開催(6、9、12、3月)により、関西経済の動向・実態を把握した。

## 意見書「健全で持続的な成長へつながる 税財政・社会保障制度に関する提言」の公表・要望活動

金利のある世界への移行や物価高の継続など、企業そして個人を取り巻く環境は足元で大きく変化している。経済成長と財政健全化の両立に向けて、今後、政府における経済財政運営は難しいかじ取りが求められるが、難題を先送りすることなく、抜本的かつ早急な取り組みが欠かせない。

そこで、「中長期的視点に立った財政健全化」「分厚い中間層の形成」「持続的な経済成長」の同時達成に向けて、優先的に取り組むべき政策についてまとめた「健全で持続的な成長へつながる税財政・社会保障制度に関する提言」を2025年10月に公表、政府・与党等へ要望活動を行った。なお、本提言では、分厚い中間層の形成に向けて、給付付き税額控除の一類型である「社会保険料軽減付き税額控除」に関する具体的な制度案を提案した。



小野寺自由民主党税制調査会長への要望

### 意見書 概要

#### 【要望内容】

- 1. 財政の持続可能性を確保し、市場からの信認を維持させるための財政運営**
  - (1) 財政事情に対する適切かつ強い危機感を持ち、財政規律を重視すべき
  - (2) 財政ガバナンスを強化する仕組みを導入すべき
  - (3) 社会保障給付費の伸びの抑制に向けた見直しを行うべき
- 2. 分厚い中間層の形成に向けた税制・社会保障制度改革**
  - (1) 税と社会保険料の負担を一体的に調整する制度(社会保険料軽減付き税額控除)を導入すべき
  - (2) 真に必要な人への給付にあたり求められる情報インフラを整備すべき
  - (3) 応能負担の強化を通じた中間層の負担抑制につながる施策を実施すべき
  - (4) 希望に応じた就労および所得の向上につながる制度改革を行うべき
  - (5) 資産形成の後押しおよび子育てを支援するための施策を実施すべき
  - (6) 税財政・社会保障の一体改革に向けて検討する協議体を創設すべき
- 3. 企業の成長力強化および地域活性化に向けた税制改正**
  - (1) 企業の成長力強化に向けた後押しを行うべき
  - (2) 地域の活性化に向けた後押しを行うべき

#### 【社会保険料軽減付き税額控除 制度案】

一定条件におけるケース(給与収入などが800万円以下の個人に10万円の税額控除を適用)の試算は以下の通り。

##### 【概要】

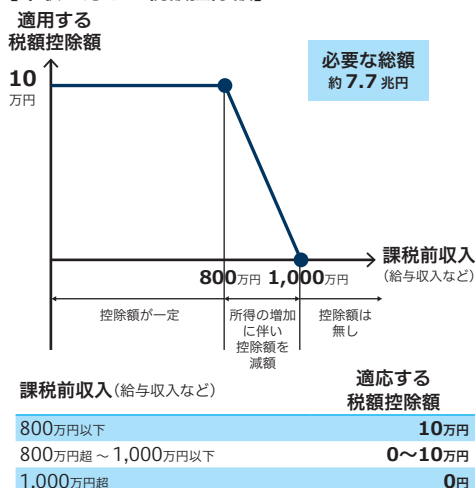
税額控除を付与し、所得税額などから控除しきれない分については、各自の社会保険料を負担している範囲内でその差額を実質的に差し引く

##### 【ポイント】

- ・ 一定程度勤労するものの低中所得である現役世代を手厚く支援できる
- ・ 現行制度の仕組み(年末調整および確定申告)を活用することで事務負担を比較的小さく抑えることができる
- ・ 人手不足の一因となっている社会保険の「年収の壁」による手取りの逆転現象の影響を緩和できる

※右記試算は、「日本家計パネル調査」(2023年度)の個票データを使い、土居丈朗 慶應義塾大学経済学部教授がマイクロ・シミュレーションで分析した結果である。

#### 【年収に応じた税額控除額】



## 事業項目

### (11) 複複眼型国土の形成と広域交通・物流ネットワークの整備・活用

#### 事業項目詳細

##### 国土形成

成長を牽引する都市圏が複数存在する複眼型国土の形成に向けた意見発信

##### 防災力強化

企業および地域の防災・災害対応力の強化

##### 鉄道

北陸新幹線・リニア中央新幹線の早期整備の実現

##### 道路

関西の高速道路ネットワークの充実・強化

##### 空港

関西3空港の最適活用に向けた検討および関西空港の利用促進

##### 港湾

万博開催期間中における交通・物流の円滑化および関西国際物流の活性化

#### 主な実施内容

- 関西広域地方計画の策定プロセスにおいて、関西の特徴・強みが最大限発揮されるよう、特に万博レガシーや関西広域連合の実績等について意見発信を行い、その趣旨をふまえた中間とりまとめ（案）が公表された（10月）。

- 企業防災セミナーを開催し、南海トラフ地震の被害想定や関西広域連合の取り組みに関する情報提供を行った（5月）。
- 防災庁地方拠点の関西への設置に向け、関西広域連合と共同で政府への要望活動を行った（8月）。
- サプライチェーンも含めたBCPの実効性向上に向けた参加型セミナーを開催した（1、2月）。
- 官民連携の促進に向けて関西広域連合とのタスクフォースで議論し、共同で「企業と自治体等との防災に関する連携好事例展開セミナー」を開催した（2月）。

- 北陸新幹線建設促進同盟会、関西広域連合等とともに、北陸新幹線の大阪までの早期全線開業等について、政府・与党への要望活動を実施した（5月）。
- 沿線自治体の大会に出席し、小浜・京都ルートでの早期全線開業に向けた意見発信を行った（5、6、8月）。

- 新名神高速道路視察会を実施し、高速道路ネットワーク整備の重要性について関係者の理解を深めた（5月）。
- 関西高速道路ネットワーク推進協議会にて、関西圏の環状ネットワークの早期完成等について、政府・与党への要望活動を実施した（8、10月）。

- 関西国際空港全体構想促進協議会にて、政府・与党に対し、関西国際空港の強化に向けた要望活動を行った（11月）。
- 関西3空港懇談会を開催し、新飛行経路運用開始後の状況の共有、関西3空港の次なる発展に向けた今後の取り組みの方向性を確認した（1月）。

- 万博開催期間中における交通需要マネジメント（TDM）の実施について、会員企業への協力の呼びかけを行った。

## 第15回関西3空港懇談会を開催 ～関西3空港の次なる発展に向けた今後の方向性を確認～

これまで関西3空港懇談会では、「2030年前後を目途に、3空港全体で年間50万回の容量確保」という目標のもと、関西国際空港の容量拡張、神戸空港の活用に向けた取り組みを進め、大阪・関西万博開幕直前の2025年3月に新飛行経路の運用が開始された。

2026年1月、第15回となる本懇談会を開催し、松本会長（座長）のほか、各自治体の首長、関西エアポート社長、国土交通省航空局長等が出席した。今回の懇談会では、新飛行経路運用開始後の環境監視体制の強化や地域振興の状況を関係者間で共有するとともに、ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催、2030年のIR開業などを控え、中長期的に国内外の交流拡大が期待されるなか、万博をスプリングボードとし、高まった関西の訴求力を関西全体の成長に繋げるため、そのゲートウェイとなる関西3空港の発展に向け、各空港での今後の取り組みを確認した。

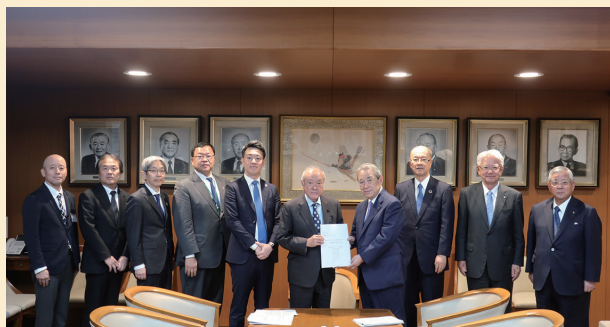
空港名	今後の主な取り組み
関西国際空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間発着回数30万回の実現のため、関西エアポートを中心に、自治体・経済界などが連携し、旺盛なアジアの需要の取り込みに加え、欧米をはじめとした国際線ネットワークの多角化に向けた取り組みを進める。</li> <li>貨物需要の変化や首都圏空港との競争等に対応するため、航空物流施設の機能強化を進める。</li> </ul>
神戸空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>第12回懇談会の合意に基づき、関西3空港の運営主体の関西エアポートグループの経営判断を尊重しつつ、関係団体協力のもと、同社グループおよび神戸市において必要な取り組みを進める。</li> </ul>
伊丹空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>第9回懇談会の取りまとめに基づき、今後のあり方について、必要な議論を行うものとする。</li> </ul>

## 関西の高速道路ネットワーク強化に向けた取り組み

関西圏の高速道路は近年になって事業着手された路線が多く、完成までに相当な時間を要することから、首都圏および中部圏と比較し、環状ネットワークの整備が遅れている。当会が代表・事務局を務め、関西の官民10団体で構成する「関西高速道路ネットワーク推進協議会」では、2015年より要望活動等を継続して行っている。

2025年度は、大阪湾岸道路西伸部等への継続的な予算確保、第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、今後の資材価格・人件費高騰等の影響を適切に反映した必要な予算・財源を通常予算と別枠で確保すること等を求め、政府・与党へ要望活動を行った。

当会では引き続き、関西圏の環状ネットワークの早期完成をめざし取り組んでいく。



鈴木自由民主党幹事長への要望



関西圏の環状ネットワークの整備状況

### 事業項目詳細

#### 2025年大阪・関西万博

##### 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の成功に向けた取り組み

### 主な実施内容

- 2025年日本国際博覧会協会（以下、博覧会協会）の理事団体として、大阪・関西万博の開催に係る協議、協力、各種行事やナショナルデーへの出席等を行った。
- 大阪・関西万博開幕前に実施された「テストラン」に200社を招待した（4月）。
- 大阪・関西万博が開幕、開会式には天皇皇后両陛下、秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えし、当会の正副会長や石破茂内閣総理大臣をはじめとする政府関係者、自治体、公式参加者、関係者等が出席した（4月）。
- 博覧会協会からの要請に応じて、会員企業に対して早期来場予約の依頼を行った（5、7、9月）。
- 国、大阪府・市、経済界、博覧会協会で構成する「大阪・関西万博の大屋根リングの活用に関する検討会」が設置され、万博会期後の「大屋根リング」の取り扱いについて議論を行い、北東200m部分の残置が決定された（実務者会合を4、8月に計4回、本会合を5、6、9月に計4回開催）。
- 自由民主党、日本維新の会など超党派の「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を成功させる国会議員連盟総会」が開催され、松本会長、吉村洋文大阪府知事、横山英幸大阪市長ほか出席した（6、10月）。
- 総理官邸にて「大阪・関西万博に関する関係者会合」が開催され、石破内閣総理大臣ほか関係閣僚、松本会長、吉村大阪府知事、横山大阪市長、十倉雅和日本経済団体連合会名誉会長、石毛博行博覧会協会事務総長らが出席（9月）、会期中の課題への対応状況等について情報共有した。
- 博覧会国際事務局（BIE）および参加各国が一堂に会した「BIEデー」が開催され、「博覧会の成功に顕著な貢献を行った団体」としてBIEから当会に対し「BIEゴールドメダル」が授与された（10月）。
- 大阪・関西万博が閉幕、閉幕式には秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えし、当会の正副会長や石破内閣総理大臣をはじめとする政府関係者、自治体、公式参加者、関係者等が出席した（10月）。
- 国による「2025年日本国際博覧会 成果検証委員会」が設置され、松本会長が参加した。万博の成果の社会実装のあり方や剰余金の活用方針等について議論を始めた（12、2月）。

## 大阪・関西万博の成功への貢献

誘致の段階から当会が深く関与してきた2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が2025年4月13日に開幕、184日間の会期を終え、10月13日に成功裏のうちに閉幕を迎えた。

来場者は関係者約344万人を含め約2,902万人に達し、来場者アンケートでその約7割から「満足」との回答を得た。運営費は1,160億円の予算に対して約320～370億円を超える黒字を確保、会場建設費も2,350億円の予算内に収まる見込みとなっている（運営費、会場建設費ともに2026年2月末時点の見込み）。また、経済産業省の試算では、経済波及効果は約3.6兆円にのぼるとされている。閉幕前日の10月12日には、当会に対し、博覧会国際事務局（BIE）より「博覧会の成功に顕著な貢献を行った団体」として「ゴールドメダル」が授与された。

会期中は、ナショナルデー等の機会にあわせて、各国から多くの要人が万博会場等を訪れた。当会では、各国からの表敬訪問、懇談会、ビジネスフォーラム等約200件に協力、普段交流の少ない国々とも関係を深化させることができた。

また、会期中の道路、鉄道の混雑を未然に防ぐため、当会や大阪府・市、2025年日本国際博覧会協会（以下、博覧会協会）等が参画する「2025年大阪・関西万博交通円滑化推進会議」が進めてきた「万博TDM（=Transportation Demand Management=交通需要マネジメント）」の取り組みも奏功し、鉄道、道路ともに大きな混乱や渋滞の発生は見られなかった。

また、会場のシンボルとなった「大屋根リング」について、建設資金を拠出した国、大阪府・市、経済界および所有者である博覧会協会をメンバーとする「大阪・関西万博の大屋根リングの活用に関する検討会」が設置され、協議の結果、会場北東部の約200mを残置することが決定された。

閉幕後の12月25日からは今回の万博の成果を検証し、レガシーとして次世代に継承していくため、国による「成果検証委員会」が設置され、松本会長はじめ万博の関係者、有識者が万博の理念・記憶の継承、成果の社会実装、剰余金の活用方針等について議論を進めている。



開幕日のテープカットセレモニーの様子（4月）



第5回「2025年大阪・関西万博交通円滑化会議」（9月）



BIEから「ゴールドメダル」を授与（10月）  
©Expo 2025

## 事業項目

### 各経済団体・自治体との連携の推進

#### 事業項目詳細

##### 西日本経済協議会

###### ◆西日本経済協議会とは

関西をはじめ北陸・中部以西の6つの経済連合会で構成し、オール西日本での意見表明や国政への要望活動などを行う組織。

西日本は歴史・地理・経済・文化的に結びつきが深い地域であり、西日本各地の経済団体が連携する場として、また、産業人の立場からよりよい西日本実現のために協力する場として1965年6月に設立された。

現在は6つの経済連合会が毎年持ち回りで幹事を務め、各地で総会や幹事会等を開催している。

(今年度は当会が幹事を務めた)

#### 主な実施内容

- 京都市で第67回総会を開催、松本会長をはじめ西日本各地の経済連合会の会長等約200名が出席し、「共創と広域連携による魅力と活力ある地域の創生～西日本が拓く新たな未来～」と題した決議を採択した（10月）。
- 佐藤啓 内閣官房副長官、井野俊郎 経済産業副大臣、小林鷹之 自由民主党政務調査会長等に対して要望活動を実施し、決議内容を国の施策へ反映するよう求めた（11月）。

## 事業項目

### 関西財界セミナーの企画・運営

#### 事業項目詳細

##### 関西財界セミナー

###### ◆関西財界セミナーとは

関西財界セミナーは、関西の企業経営者が年に一度、一堂に会し、国、地域、企業経営のあり方を議論する伝統あるセミナーである。

1963年の第1回以来、毎年2月に開催されており、2003年の第41回セミナーからは関西経済同友会と関西経済連合会の共催となっている。

#### 主な実施内容

- 京都国際会館において「第64回関西財界セミナー」を開催した（2月）。メインテーマを「新たなステージへの挑戦～関西が描く持続可能な未来社会～」とし、約680名が参加した。
- 各分科会では、万博で高まった「KANSAI」のブランド力の広域観光推進への活用、外国人材の受け入れ・活躍と地域社会との共生に向けて企業や地域が果たす役割、スポーツの持つ力の企業戦略や地域の発展への活用について、社業の枠を超えて具体的かつ実践的な議論が展開された。その後の全体会議の場では、各分科会の議長より報告が行われ、最後に総括として主催者より「主催者声明」が発表された。
- 基調講演では大阪大学大学院 基礎工学研究科教授・栄誉教授 石黒浩氏に、特別講演ではスポーツジャーナリスト、スポーツコミュニケーションズ 代表取締役 二宮清純氏に登壇いただいた。また、「関西財界セミナー賞2026」の贈呈式が行われた。

## 西日本経済協議会第67回総会および要望活動



第67回総会の様子



小林自由民主党政務調査会長への要望

### <決議文> 「共創と広域連携による魅力と活力ある地域の創生～西日本が拓く新たな未来～」

1. 府県を越えた広域連携の促進と新たな経済社会モデルの構築
2. イノベーションの促進と生産性向上
3. GX（グリーントランスフォーメーション）の実現に向けた取り組みの推進
4. 地方創生の強力な推進
5. 国土強靱化と防災・減災対策の推進、ネットワーク形成に向けた社会基盤整備等

## 第64回関西財界セミナー



全体会議



分科会



関西財界セミナー賞

### <分科会テーマ一覧>

- |  |  |
|--|--|
| 第1分科会：いのち輝く日本のビジョン<br>～万博を終えて社会実装を考える～         | 第4分科会：外国人材の受け入れ・活躍と地域社会との<br>共生を考える        |
| 第2分科会：KANSAIブランド確立に向けたポスト万博に<br>おける新たな観光とまちづくり | 第5分科会：AI競争時代を生き抜くために<br>～AI社会における国家・企業の戦略～ |
| 第3分科会：人口減少を見据えた新しい社会・経済の形                      | 第6分科会：スポーツで育む企業価値と地域のさらなる発展                |

### <関西財界セミナー賞2026>

- |                  |                                       |
|------------------|---------------------------------------|
| 大賞：大阪市高速電気軌道株式会社 | 輝く女性賞：株式会社 With Midwife 代表取締役 岸畑 聖月 氏 |
| 特別賞：アドベンチャーワールド  | トレジェムバイオファーマ株式会社                      |
| 株式会社小田垣商店        | 代表取締役社長 喜早 ほか 氏                       |
| クオリプス株式会社        | 一般社団法人暮らしの学校農楽 代表理事 木村 尚子 氏           |
|                  | 株式会社 Stroly 代表取締役社長 高橋 真知 氏           |
|                  | 西垣靴下株式会社                              |



## 【SDGsとは】

- 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、発展国のみならず先進国も取り組む2030年に向けた目標。
- 17の目標、169のターゲット、230の指標によって構成される。

当会では事業を通じSDGs達成に貢献するという意識のもと、各種取り組みを実施。その一部は以下の通り

	2025年度活動	SDGs
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 関経連アセアン経営研修                              </li> <li>• 女性のエンパワーメント交流会                              </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DX人材育成を目的とした講座やセミナー等の実施</li> <li>• 女性を対象とした交流会やセミナーの開催</li> <li>• 外国人材の採用・育成に関するセミナーの実施</li> </ul>   
産業・地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 兵庫県丹波地域モニターツアー                              </li> <li>• SDGsへの貢献につなげる 関西マッチング会成果報告会                              </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 丹波の森視察交流ツアー                              </li> <li>• イノベーションに関するセミナーの実施</li> <li>• 関西スポーツ応援企業表彰の実施</li> <li>• 中堅・中小企業の海外進出に向けた取り組みの実施</li> <li>• 航空機産業への参入機会の創出に向けた交流会やイベントの実施</li> </ul>    

## 関西SDGsプラットフォーム

### < 設立目的 >

• SDGsへの取り組みが、関西の民間企業、市民社会・NPO/NGO、大学・研究機関、自治体・政府機関、すべての人々にとって、重要であることを広くアピールすることなどを目的に、2017年12月に設立。なお、当会の役員が運営委員長に就任している。

### < 活動内容 >

• SDGsに関連するセミナー等イベントの開催、参加団体が実施するSDGs関連イベントへの協力、参加団体のSDGsに貢献する活動の広報・発信など

### < 2025年度活動内容 >

- SDGsへの理解を促すセミナー・ワークショップ等の開催
- 「関西SDGsプラットフォーム」Webサイトを通じた関連イベント等の情報発信 他

# 2025年度事業項目と公益目的事業項目との関係

事業項目	1. 調査研究事業	2. 実践的活動・支援ならびに普及啓発事業	3. 交流・連携事業
<b>(1) 道州制実現につながる地方分権・広域行政の推進</b>			
① 関西広域連合のさらなる発展と地方分権改革の推進	●	●	
<b>(2) マルチステークホルダー資本主義に基づく企業経営を広げる取り組み</b>			
① マルチステークホルダー資本主義の実現に向けた企業制度に関する調査研究と意見表明	●	●	
② 三方よしに基づく「民の力」を効果的に発揮する仕組みづくり	●	●	
<b>(3) アジアをはじめとする世界との双方向のつながりの強化</b>			
① 「アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)」の推進		●	●
② アジア各国における人的ネットワークの強化			●
③ 各国政府・経済界との連携強化	●		●
<b>(4) イノベーションが創出されるエコシステムの構築、産業振興の加速</b>			
① 「起業街道・関西プロジェクト」の推進		●	●
② 「あっちこっち関西・イノベーションプロジェクト」の推進		●	●
③ 万博レガシーとなるイノベーションを社会実装する関西の実現	●	●	
④ 持続的な経済成長を支える科学技術・産業振興の強化	●	●	●
⑤ けいはんな学研都市のイノベーション拠点強化に向けた支援		●	
<b>(5) 関西が一体となったDXの実践</b>			
① 地域・企業におけるDX推進に資する取り組み	●	●	
<b>(6) 持続的な経済成長と環境の両立</b>			
① GXによるカーボンニュートラルと経済成長およびS+3Eに基づくエネルギー政策の実現に向けた取り組み	●	●	●
<b>(7) 交流拠点としての機能強化</b>			
① 京阪神都市圏を中核とする都市魅力の向上	●	●	
② 万博を契機とした関西の観光・文化振興に向けた環境整備	●	●	●
<b>(8) 多様な人材が能力を発揮できる環境の整備</b>			
① 雇用・労働のあり方に関する調査研究・課題提起	●	●	●
② 活躍の場を求めるヒトを惹きつけ、多様性と成長力を高める取り組み		●	
③ 人事・労務課題の解決支援		●	●
<b>(9) 産官学・スポーツ界の連携による「スポーツで輝く関西」の実現</b>			
① 関西広域・産官学の連携による「関西スポーツ振興ビジョン」で掲げた4本柱の取り組みの一体的・継続的推進	●	●	
<b>(10) 財政健全化と経済成長の両立に向けた経済財政運営の実現</b>			
① 財政健全化と経済成長の両立に向けた調査研究・提言	●	●	
② 関西経済の動向・実態の把握と情報発信	●	●	
<b>(11) 複眼型国土の形成と広域交通・物流ネットワークの整備・活用</b>			
① 成長を牽引する都市圏が複数存在する複眼型国土の形成に向けた意見発信	●	●	
② 企業および地域の防災・災害対応力の強化	●	●	
③ 北陸新幹線・リニア中央新幹線の早期整備の実現	●	●	
④ 関西の高速道路ネットワークの充実・強化	●	●	
⑤ 関西3空港の最適活用に向けた検討および関西空港の利用促進	●	●	
⑥ 万博開催期間中における交通・物流の円滑化および関西国際物流の活性化	●	●	
<b>(12) 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の成功</b>			
① 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の成功に向けた取り組み		●	
<b>◆事業活動のベースとしての取り組み、そのほか</b>			
① 「関西財界セミナー」の企画・運営	●		●
② 関西各地域の実情や要望事項の把握、関係強化			●
③ 西日本経済協議会をはじめとする各経済団体・自治体などとの連携の推進			●
④ マスコミ、機関誌などを通じた広報活動による当会活動内容・主張の発信力強化		●	
⑤ 会員サービスの充実・強化		●	●

(敬称略)

委員会	担当副会長等	委員長・担当委員長・専門委員長・副委員長	所管事項
統括委員会	—	委員長 松本 正義(関西経済連合会 会長)	各委員会の重要事項の報告・調整等
経済財政委員会	園副会長 常陸副会長	委員長 常陸 均(三井住友信託銀行 特別顧問) 副委員長 西村 義明(住友理工 特別顧問) 副委員長 廣富 靖以(共英製鋼 取締役相談役) 副委員長 池田 雅一(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 代表取締役社長) 副委員長 笹川 貴生(岩井コスモ証券 代表取締役社長COO) 副委員長 佐々木大輔(野村證券 専務 西日本担当 大阪社在兼大阪支店長) 副委員長 豊田喜久夫(エア・ウォーター 代表取締役会長) 副委員長 徳丸 武史(紀陽銀行 上席執行役員 大阪事業部長兼大阪支店長) 副委員長 若林 常夫(京阪神ビルディング 代表取締役社長) 副委員長 三宅 善博(三井住友銀行 常務執行役員) 副委員長 村田 聡(社会福祉法人永寿福祉会 理事長)	財政健全化と経済成長の両立に向けた中長期的な経済財政運営の総合的検討・提言(税・財政、およびその実現に向けた取り組みの実施) 経済情勢・景気動向の実態把握と経済・金融政策の検討
企業制度委員会	十河副会長	委員長 角元 敬治(三井住友銀行 上席顧問) 副委員長 白杵 弘宗(西村あさひ法律事務所大阪事務所 法人パートナー) 副委員長 大島 正照(TMI総合法律事務所 パートナー弁護士) 副委員長 西村 義明(住友理工 特別顧問) 副委員長 影浦 智子(オリックス 執行役 リーガル・コンプライアンス部門 企業法務管掌) 副委員長 橋本 雅博(住友生命保険 会長) 副委員長 菊本 一高(栗本鐵工所 社長) 副委員長 少徳 彩子(パナソニック ホールディングス 取締役執行役員 グループGC グループCRO) 副委員長 高矢 葉子(りそな銀行 執行役員) 副委員長 岡 広史(伊藤忠商事 常務理事) 副委員長 石丸 園子(東洋紡 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長) 副委員長 佐口 敏康(グンゼ 代表取締役社長) 副委員長 井村 優(イムラ 代表取締役社長)	マルチステークホルダー資本主義の実現に向けた企業制度に関する調査研究と意見表明、三方よしに基づく「民の力」を効果的に発揮する仕組みづくり
地方分権・広域行政委員会	真鍋副会長	委員長 銭高 一善(銭高組 会長) 副委員長 加藤 好文(京阪ホールディングス 代表取締役会長) 副委員長 田中 尚宏(三井住友信託銀行 アドバイザー) 副委員長 好本 達也(J. フロントリテイリング 取締役) 副委員長 徳丸 武史(紀陽銀行 上席執行役員 大阪事業部長兼大阪支店長) 副委員長 丸山 徹(シークス COS 代表取締役 専務執行役員) 副委員長 渋谷 孝人(第一生命保険 常務執行役員 関西営業本部長) 副委員長 高倉 透(三井住友トラストグループ 取締役執行役員) 副委員長 高島 裕明(りそな銀行 常務執行役員 大阪営業部長)	地方分権・分権型道州制や地方創生の実現に向けた調査・提言、関西広域連合の発展支援と関西広域連携の推進
科学技術・産業振興委員会	堀場副会長 北尾副会長	委員長 牧村 実(川崎重工業 顧問) 副委員長 鈴木 博之(丸一鋼管 代表取締役会長兼CEO) 副委員長 手代木 功(塩野義製薬 代表取締役会長兼CEO) 副委員長 土井 義宏(きんでん 代表取締役会長) 副委員長 五十川龍之(新明和工業 社長) 副委員長 浅見 徹(国際電気通信基礎技術研究所 社長) 副委員長 小川 立夫(パナソニック ホールディングス 執行役員) 副委員長 谷藤 道久(田辺アーマ 執行役員 法務・コンプライアンス・知的財産本部長 医務政策・渉外担当) 副委員長 川野 淳子(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 取締役常務執行役員) 副委員長 堀内 浩祐(日立製作所 関西支社社長執行役員) 副委員長 海藤 克明(島津製作所 専務執行役員) 副委員長 丹羽 琢己(みずほ銀行 副頭取執行役員西日本地区担当) 副委員長 五嶋祐治郎(日本触媒 相談役) 副委員長 星加 宏昌(ガイハツ工業 代表取締役副社長) 副委員長 奥田 真弥(三ツ星ヘルト 取締役) 副委員長 梶村 毅(日本政策投資銀行 常務執行役員 関西支店長) 副委員長 垣内 永次(S C R E E Nホールディングス 特別顧問) 副委員長 宮永 美紀(住友電気工業 執行役員)	関西の将来を支える産業の創出・育成に向けた成長分野における産業振興とイノベーションを加速する仕組みづくり
スタートアップ・エコシステム委員会	堀場副会長 井上副会長 澤田副会長	委員長 澤田 拓子(塩野義製薬 副会長) 副委員長 諸富 隆一(阪急阪神不動産 取締役会長) 副委員長 稲塚 徹(ダイキン工業 常務専任役員) 副委員長 堀 直樹(三菱UFJ銀行 取締役会長) 副委員長 中谷 浩(川崎重工業 代表取締役副社長執行役員) 副委員長 門脇あつ子(大阪ガス 執行役員) 副委員長 福島 伸一(公立大学法人大阪 理事長) 副委員長 中谷 太郎(三菱電機 上席執行役員 営業本部長 兼 関西支社長) 副委員長 伊藤 千恵(電通総研 執行役員) 副委員長 柴田 英一(大和ハウス工業 取締役常務執行役員) 副委員長 有村 隆文(三井住友信託銀行 専務執行役員) 副委員長 大鶴 保(テロイトトーマツコンサルティング パートナー) 副委員長 篠原 共幸(池田泉州銀行 取締役常務執行役員) 副委員長 川勝 隆(京都銀行 取締役 営業本部長) 副委員長 田中 昭二(アビームコンサルティング 執行役員) 副委員長 馬殿 太郎(オリックス 執行役 グループ関西代表)	うめきたやけいほんなどオール関西でのスタートアップ支援拠点の連携や、大企業とスタートアップとの協業・オープンイノベーションの推進に向けた取り組み 関西各地のイノベーション創出に向けた取り組みのサポート
地球環境・エネルギー委員会	金花副会長 森副会長	委員長 間島 寛(岩谷産業 代表取締役 社長執行役員) 副委員長 稲垣 史則(島津製作所 エグゼクティブアドバイザー) 副委員長 松田 真理(ユアサM&B 代表取締役社長兼CEO) 副委員長 小川 立夫(パナソニック ホールディングス 執行役員) 副委員長 上山 淳一(三井物産 理事 関西支社副支社長) 副委員長 山本 淳一(カナデビア 執行役員) 副委員長 小坂佳世子(損害保険ジャパン 執行役員) 副委員長 亀田 綾子(大林組 執行役員 グリーンエネルギー本部本部長) 副委員長 池田 雅信(エコトラック 社長)	国民生活や企業活動の根幹を担う電力の低廉かつ安定した供給と、S+3Eに基づいたエネルギー政策、GXによる経済成長に必要な政策等に関する意見表明および具体的アクションの実施



委員会	担当副会長等	委員長・担当委員長・専門委員長・副委員長	所管事項
労働政策委員会 [ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)専門委員会] ※印：D&I専門委員会と兼務	牧野副会長	委員長 宮本 信之(関西電力 執行役常務) D&I専門委員長 柿原アツ子(川崎重工業 取締役(監査等委員)) 副委員長※ 小野 幸親(相互タクシー 社長) 副委員長※ 古谷 裕子(北港運輸 社長) 副委員長※ 森島 朋三(学校法人立命館 理事長) 副委員長 高山 俊三(高島屋 顧問 関西代表) 副委員長※ 山田 実和(積水ハウス 執行役員 ESG経営推進本部長) 副委員長※ 國井 美和(住友電気工業 常務執行役員) 副委員長 中田 将稔(住友電気工業 上席常務執行役員) 副委員長※ 松久 藤子(三井物産 関西支社副支社長 兼 業務部長) 副委員長※ 森口 真希(堀場製作所 理事 管理本部副本部長) 副委員長 稲田 武彦(東洋紡 常務執行役員) 副委員長※ 梶谷 良野(島津製作所 常務執行役員) 副委員長※ 實松 恭子(パソナ 常務執行役員 関西営業本部長) 副委員長 林 信(近鉄グループホールディングス 取締役専務執行役員) 副委員長※ 太田 旬治(クボタ 常務執行役員 CHRO HR本部長) 副委員長※ 門脇あつ子(大阪ガス 執行役員) 副委員長※ 木村ひとみ(日本新薬 取締役 サプライチェーン・信頼性保証担当) 副委員長※ 矢ヶ部昌嗣(日本製鉄 参与大阪支社長) 副委員長 戸田 正仁(レンゴウ 常務執行役員(上席)) 副委員長 土肥 太郎(カナデビア 専務執行役員ピープル&カルチャー本部長 Chief People & Culture Officer (CPO)) 副委員長※ 吉川 英里(京セラ 執行役員) 副委員長 井上喜久栄(エア・ウォーター 取締役 執行役員) 副委員長 島岡 秀和(丸島アクアシステム 代表取締役社長) 副委員長※ 福付 嘉明(カワソーテックセル 社長)	雇用・労働政策、労働法制に関する総合的な検討、中小企業が有する人事・労務課題の整理と解決支援 「関西ビジョン2030」に示した、活躍の場を求める「ヒトを惹きつける舞台」となるための取り組みの推進
万博特別委員会	委員長：松本会長、委員	副会長及び万博に関係する下記委員会の委員長 ①科学技術・産業振興委員会 (牧村委員長) ②国土・広域基盤委員会 (橋原委員長) ③都市・観光・文化委員会 (篠山委員長) ④スポーツ振興委員会 (野崎委員長) ⑤国際委員会 (鈴木委員長)	2025年日本国際博覧会協会との連携/ 大阪・関西万博に関連する委員会への情報展開
万博推進担当	森副会長 玉置副会長	—	—
			2025年大阪・関西万博に向け、官民一体となった国内機運醸成、政策要望、海外プロモーション活動の推進、万博後のレガシー創出・継承に向けた取り組み

■経済財政委員会

開催日	会合名	内容
2025/04/18	第2回財政を考える研究会	<テーマ> ①「減税すれば増収できる」のか？ ②「国債発行は負担の先送りではない」のか？ ③「財政赤字は問題ない」のか？
05/26	経済財政委員会 講演会	<講演> 演題：税と社会保障の一体改革に向けて必要な環境整備とは 講師：一橋大学大学院 経済学研究科 教授 佐藤 主光 氏
05/28	第3回財政を考える研究会	<テーマ> ①国債格付けとは？ ②財政再建プログラム
06/20	第137回景気動向研究会	<テーマ> 各業界の最近の動向および今後の見通しなど
07/03	経済財政委員会 担当副会長・正副委員長会議	<講演> 演題：給付付き税額控除および応能負担のあり方 講師：東京財団 シニア政策オフィサー 森信 茂樹 氏 <意見交換> テーマ：税財政に関する提言 骨子案
07/09	第4回財政を考える研究会	<テーマ> ①財政ガバナンスの強化と財政規律をどう確保するか？ ②ワイスベンディングをどう徹底するか？
08/20	国際金融都市OSAKA推進委員会 令和7年度第1回幹事会	<テーマ> 国際金融都市OSAKA戦略アクションプランの改訂に向けた検討状況(整理案)について
08/29	第5回財政を考える研究会	<テーマ> 研究会のとりまとめに向けて
09/04	経済財政委員会 担当副会長・正副委員長会議	<講演> 演題：社会保険料軽減付き税額控除のシミュレーションについて 講師：慶應義塾大学 経済学部 教授 土居 文朗 氏 <意見交換> テーマ：「健全で持続的な成長へつながる税財政・社会保障制度に関する提言」本文案
09/26	第138回景気動向研究会	<テーマ> 各業界の最近の動向および今後の見通しなど
10/30	意見書「健全で持続的な成長へつながる税財政・社会保障制度に関する提言～財政健全化と厚い中間層の形成に向けて～」公表	
11/20	意見書「健全で持続的な成長へつながる税財政・社会保障制度に関する提言～財政健全化と厚い中間層の形成に向けて～」要望活動	要望先：小野寺五典自由民主党税制調査会長、梅村聡日本維新の会税制調査会長・社会保障制度改革調査会長、山田賢司経済産業副大臣、新川浩嗣財務省事務次官、伊原和人厚生労働省事務次官
12/24	第139回景気動向研究会	<テーマ> 各業界の最近の動向および今後の見通しなど
2026/01/15	令和8年度税制改正説明会	講師：財務省 主税局長 青木 孝徳 氏、総務省 自治税務局長 寺崎 秀俊 氏
01/21	国際金融都市OSAKA推進委員会 令和7年度第2回幹事会	<テーマ> 国際金融都市OSAKA戦略アクションプランの改訂について ※事務局：大阪府および大阪市
03/16	経済財政委員会 担当副会長・正副委員長会議	<講演> 演題：2026年度の税財政政策の課題 講師：慶應義塾大学 経済学部 教授 土居 文朗 氏 <報告・意見交換> テーマ：①2025年度活動実績、②2026年度委員会運営方針(案)および今後の活動にあたって
03/23	第140回景気動向研究会	<テーマ> 各業界の最近の動向および今後の見通しなど
03/30	国際金融都市OSAKA推進委員会 令和7年度第1回総会	議題：国際金融都市OSAKA戦略アクションプラン 改定案

07/23	企業制度委員会 講演会	<講演> 演題：マルチステークホルダー資本主義に基づく経営の「実践」～付加価値分配計算書の活用～ 講師：早稲田大学 商学大学院 商学部 教授 スズキ トモ 氏
08/06	「坐・三方よし」第4回会合	<パネルディスカッション> テーマ： 「経済的価値」と「社会的価値」の両立 ・マルチステークホルダー経営をどう実践するか？ ・サステナビリティの取り組みを真の価値向上に昇華するためには？ モデレーター： 大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ 教授 伊藤 武志 氏 パネリスト： 京都大学 経営管理大学院 教授 砂川 伸幸 氏 NEC 経営企画・サステナビリティ推進部門 ステークホルダーリレーション統括部 サステナビリティ戦略企画室 室長 廣井 ゆりあ 氏
08/26	公正取引委員会講演会	<講演> 演題：公正取引委員会の取組 講師：公正取引委員会 委員長 茶谷 栄治 氏
09/24	企業制度委員会 講演会	<講演> 演題：投資家・株主に対する戦略的エンゲージメント 講師：フランスウィック・グループ パートナー 江良 明嗣 氏 フランスウィック・グループ ディレクター 福岡 侑希 氏
11/05	企業制度委員会 正副委員長会議	<議題> ・企業制度に関する直近の取組状況 ・中期計画の策定に向けて
12/05	企業制度委員会 講演会	<講演> 演題：TISFDの取組 講師：不平等・社会関連財務情報開示タスクフォース (Taskforce on Inequality & Social-related Financial Disclosures; TISFD) 事務局長 Simon Rawson氏 不平等・社会関連財務情報開示タスクフォース (TISFD) Steering Committee メンバー、日本生命保険 執行役員 木村 武 氏
2026/02/03	「坐・三方よし」第5回会合	<テーマ> マルチステークホルダー経営の社内浸透 1. 講演 演題：社内浸透～理解・共感拡大、行動変容～ 講師：法政大学 経営学部 准教授 北田 皓嗣 氏 2. グループディスカッション ①講演を聞いて気づいた点 ②いま自社でどの程度浸透していると感じるか ③自社に必要であると感じたこと・他社の方に聞いてみたいこと ④今後の取り組みに活かしたいと思ったこと 3. 参加者感想 4. 交流会
02/16～19	米国ビジネスラウンド・テーブル (BRT) 等との意見交換	訪問先：BRT・米国証券取引委員会 他
02/26	企業制度委員会 正副委員長会議	<議題> ・米国ビジネスラウンド・テーブル等との意見交換 結果概要 ・「企業情報開示に関する実態調査研究」中間報告 ・2026年度委員会運営方針 (案) ・「坐・三方よし」について
03/06	意見書「コーポレートガバナンス・コード改訂に向けた考え方」公表	
03/12	関西経済連合会・大阪弁護士会共催講演会「ストーリーでわかる！国際紛争解決の実務と手続～契約条項ドラフティングから調停・仲裁まで～」	<講演> 演題：ストーリーでわかる！国際紛争解決の実務と手続～契約条項ドラフティングから調停・仲裁まで～ 講師：大阪弁護士会 国際委員会委員、北浜法律事務所・外国法共同事業 弁護士 河浪 潤 氏
03/17	第15回 企業会計に関する研究会	<講演> 演題：SSB1開示対応に向けた最新動向/期末に向けて留意すべきポイント 講師：あずさ監査法人 常務執行役員 会計・開示プラクティス部長 金融統轄事業部 パートナー 関口 智和 氏

■企業制度委員会

開催日	会合名	内容
2025/05/21	企業制度委員会 講演会	<講演> 演題：アクティビストファンドの動向と経営戦略のあり方 講師：マッキンゼー・アンド・カンパニー 関西オフィスパートナー 河内 善帆 氏、コンサルタント 中尾 唯人 氏、金水 文平 氏
06/03	第14回 企業会計に関する研究会	<講演> 演題：有価証券報告書の総会前開示の課題～実務の視点から～ 講師：京都先端科学大学 国際学術研究院 特任教授 山田 浩史 氏
06/16	企業制度委員会 担当副会長・正副委員長会議	<議題> ・企業制度に関連する直近の政府の会議体等における検討状況について

■地方分権・広域行政委員会

開催日	会合名	内容
2025/04/08	地方分権・広域行政委員会 講演会、担当副会長・正副委員長打ち合わせ	<講演> 演題：地方創生2.0に向けた取組について 講師：内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局 審議官 大森一顕 氏
06/04	分権戦略検討チーム	<議題> ①意見書「関西広域連合『第6期広域計画』策定に向けて」(本文案)について ②関西広域連合との定例意見交換会について 他
06/16	地方分権・広域行政委員会 担当副会長・正副委員長打ち合わせ	<議題> ・意見書「関西広域連合『第6期広域計画』策定に向けて」(本文案)について ・関西広域連合との定例意見交換会 (7/31) について 他
07/02	関西広域連合との非公式 トップ懇談会	議題：意見書「関西広域連合『第6期広域計画』策定に向けて」について

07/17	意見書「関西広域連合」第6期広域計画」策定に向けて」公表	
10/06	地方分権・広域行政委員会講演会、担当副会長・正副委員長打ち合わせ	<p>&lt;講演&gt; 演題：道州制勉強会 講師：中京大学 総合政策学部 教授 今井 良幸 氏</p> <p>&lt;議題&gt; ①関西広域連合「新たな広域自治・行政のあり方研究会」での真鍋副会長のご発言について ②「広域連合」について 他</p>
10/23	「関西広域連合」第6期広域計画」策定に向けて」公表(関西広域連合およびその構成府県市、関西観光本部、関西MaaS協議会と連名)	
12/10	分権戦略検討チーム	<p>&lt;議題&gt; ①道州制に関する考え方の整理について ②関西広域連合「新たな広域自治・行政のあり方研究会」について ③関西広域連合との定例意見交換会について 他</p>
2026/01/13	地方分権・広域行政委員会担当副会長・正副委員長打ち合わせ	<p>&lt;議題&gt; ①道州制に関する考え方の整理について ②関西広域連合「新たな広域自治・行政のあり方研究会」について ③関西広域連合との定例意見交換会について 他</p>
02/09	「関西広域連合」第6期広域計画」策定に向けて」公表(関西広域連合、関西観光本部、関西MaaS協議会と連名)	
03/09	シンポジウム「関西×九州で考えるこれからの広域連携～道州制を見据えて～」(九州経済連合会との共催)	<p>モデレーター(トークセッション①②共催)： 大阪大学大学院 法学研究科 教授 北村 匡 氏 &lt;トークセッション①&gt; テーマ：都道府県を越えた広域行政の推進、将来的な道州制導入に向けて パネリスト： 関西連 地方分権・広域行政委員会 副委員長、J.フロントテイリング 取締役 好本 達也 氏 九州経済連合会 地域共創委員会 規制改革推進部会長、福岡地域戦略推進協議会 事務局長 石丸 修平 氏、神戸大学大学院 法学研究科 教授 砂原 庸介 氏、中京大学 総合政策学部 教授 今井 良幸 氏 &lt;トークセッション②&gt; テーマ：各ブロックにおける広域連携の取組、広域連携をさらに発展させるために パネリスト： 関西観光本部 専務理事 加藤 進 氏 関西広域連合共創プラットフォーム 統括ディレクター 伊藤 順司 氏 九州経済連合会 専務理事 堀江 広重 氏</p>
03/13	「関西広域連合」第6期広域計画」策定に向けて」公表(関西広域連合、関西観光本部、関西MaaS協議会と連名)	

07/31	関西広域産業共創プラットフォーム推進会議	・事業実績報告、事業計画(案)説明
08/22	関西航空機産業プラットフォームNEXT航空機もづくり革新分科会(第16回)	<p>演題：経済産業省における取組 講師：経済産業省 製造産業局航空機宇宙産業課航空機部 素材産業室長 西山 正 氏</p> <p>演題：人材確保の課題と対応について 講師：SUBARU 航空宇宙カンパニー 調達部(調達外注)主査 森田 浩司 氏</p>
09/02	第3回次世代空モビリティ実務者会合	・意見交換
09/05	関西航空機産業プラットフォームNEXT 第11回研究会	<p>演題：大阪・関西万博後の空飛ぶクルマ、実装に向けた課題と見直し 講師：慶応義塾大学大学院 SDM研究所顧問 中野 冠 氏</p> <p>演題：空飛ぶクルマの現在地と今後の展望～国内外の機体開発・社会実装の動向～ 講師：日本政策投資銀行 産業調査部兼航空宇宙室 調査役 岩本 学 氏</p>
09/19	けいはんな万博in夢洲～しろう！ふれよう！けいはんな～	<p>&lt;プログラム&gt; ※4/23開催内容と同様 ※けいはんな万博2025運営協議会主催</p>
09/29	科学技術・産業振興委員会講演会「博士人材の活躍促進に関する取り組みの紹介」	<p>&lt;講演&gt; 演題：経済産業省における博士人材活躍のための取組～博士人材が企業で活躍する必要性と検討会の開催、博士人材の活躍促進に向けたガイドブックについて～ 講師：経済産業省 イノベーション環境局大学連携推進室長 川上 信史 氏</p> <p>演題：文部科学省における博士人材活躍のための取組～企業で活躍する博士人材ロールモデル事例集をはじめとして～ 講師：文部科学省 科学技術・学術政策局人材政策課 人材政策推進室長 中村 徹平 氏</p>
10/04	けいはんなR&Dフェア2025	メインテーマ：科学で描こう～けいはんなの未来キャンパス～
10/07	関西航空機産業プラットフォームNEXT第4回地域交流会	<p>視察先：多摩冶金本社工場、南工場 演題：100年企業ビジョン「見えないからこそ、おもしろいモノづくり」 講師：多摩冶金 代表取締役副社長 山田 真輔 氏</p>
10/11	けいはんな万博閉会式	
10/15	関西企業のNEDO省エネ関連プログラム参加促進セミナー ※NEDOとの共催	<p>&lt;講演&gt; 演題：関西広域産業共創プラットフォームについて 講師：関西広域産業共創プラットフォーム 統括ディレクター 伊藤 順司 氏</p> <p>演題：省エネや脱炭素によるコスト削減と企業価値の向上のために 講師：近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 課長補佐 矢野 勝正 氏</p> <p>演題：脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装プログラム説明会 講師：NEDO フロンティア部 脱炭素省エネユニット長 二上 優人 氏 ほか</p>
10/22	理化学研究所計算科学研究センタースーパーコンピュータ・量子コンピュータ視察会	視察先：理化学研究所計算科学研究センター(R-CCS)
10/27	けいはんな学研都市第5期ステージプラン検討委員会第1回総会	
11/10	新型コロナウイルス基金研究開発プロジェクト成果報告会	<p>&lt;メッセージ&gt; 京都大学大学院 医学研究科 附属がん免疫総合研究センター センター長 本庶 佑 氏 &lt;研究成果発表&gt; 講師：京都大学 総長 熊ノ郷 淳 氏 京都大学IPS細胞研究所・大学院医学研究科 免疫生物学教授 濱崎 洋子 氏 京都府立医科大学大学院 医学研究科 ゲノム医学部門教授 田代 啓 氏 他</p> <p>&lt;閉会挨拶&gt; 京都大学大学院 医学研究科 創薬医学講座 特任教授 萩原 正敏 氏</p>
11/10	第4回次世代空モビリティ実務者会合	・意見交換
11/13	関西文化学術研究都市令和7年度政府要望	
12/12	第5回次世代空モビリティ実務者会合	・意見交換
12/15	R&Dイノベーションフォーラム ※関西文化学術研究都市推進機構と共催	<p>&lt;プログラム&gt; ・けいはんなR&amp;Dイノベーションコンソーシアム 活動報告 ・コンソーシアム会員企業事例紹介 &lt;講演&gt; 演題：自動運転における技術課題と今後の方向性 講師：同志社大学 モビリティ研究センター長、教授 佐藤 健哉 氏</p> <p>演題：けいはんなにおける自動運転の取り組み～いままでと、これから～ 講師：京都府 商工労働観光部 文化学術研究都市推進課 課長補佐 兼 係長 高柳 竜太 氏</p>

## ■ 科学技術・産業振興委員会

開催日	会合名	内容
2025/04/13	けいはんな万博2025開会式	<p>&lt;プログラム&gt; ・トークセッション ・コーラス他 ※けいはんな万博2025運営協議会主催</p>
04/23	けいはんな万博 in 夢洲～しろう！ふれよう！けいはんな～	<p>&lt;プログラム&gt; ・ワークショップ 出展：新日本理化、東し建設、奈良先端科学技術大学院大学、和束町、量子科学技術研究開発機構 関西量子科学研究所 ・体験展示 出展：AC Biode、NTTドコモ、けいはんなアバターチャレンジ、電気通信大学、東京大学、奈良先端科学技術大学院大学、PITTAN、フイトンチッドジャパン ・クイズラリー ※けいはんな万博2025運営協議会主催</p>
06/02	科学技術・産業振興委員会講演会「産業用ロボットの安全性と生産性の向上」	<p>&lt;講演&gt; 演題：ウェルビーイング経営を支える協調安全・人手不足解消と働く人のウェルビーイング向上・協調安全に関する万博と連携した活動紹介 講師：日本認証 代表取締役社長 赤松 浩二 氏 演題：製造現場の運搬口スを減らすための取り組み 講師：カワソーテックセル 堺工場 工場長 浦川 佳寿彦 氏 演題：ロボット活用時の生産性と省スペース化・安全性について 講師：三菱電機 機器事業部ロボット・センサ部 Chief Expert 武原 純二 氏</p>
06/02	科学技術・産業振興委員会担当副会長・正副委員長会議	<p>&lt;意見交換&gt; 議題：2024年委員会活動報告、2025年運営方針説明</p>
06/23	科学技術・産業振興委員会関西ウェルビーイング共創拠点ハブツアー	<p>&lt;視察先&gt; ・神戸医療産業都市(国際くらしの医療館・神戸、神戸医療産業都市推進機構、神戸アイセンター) ・けいはんな学研都市(理化学研究所ガーディアンロボットプロジェクト、鳥津製作所基盤技術研究所(みらい共創ラボ)、福寿園 CHA遊学パーク)</p>
06/26	第1回次世代空モビリティ実務者会合	・意見交換
07/29	関西文化学術研究都市令和7年度政府要望	要望先：伊藤良孝国際博覧会担当大臣、城内実内閣府特命担当大臣
07/31	第2回次世代空モビリティ実務者会合	・意見交換

2026/01/26	けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会オープンラボシンポジウム2025「スマートファクトリーが拓く未来のモノづくりを展望する」	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>演題：サントリー大阪工場のものづくり技術～「新スプリット・リキュール工房」建設プロジェクト～</p> <p>講師：サントリー 大阪工場技術長代理(工務部門、連続蒸溜部門担当) 高橋 大輔 氏</p> <p>演題：デジタル技術を活用した持続的な成長に繋げるものづくりDXのあり方</p> <p>講師：オムロン 技術・知財本部 デジタルソリューションセンター長 土屋 直樹 氏</p> <p>演題：スマートファクトリーにおける無線通信技術の利用に向けて</p> <p>講師：情報通信研究機構 ダイバーシティ推進室長 兼ネットワーク研究所ワイヤレスネットワーク研究センター研究マネージャー 板谷 聡子 氏</p> <p>※けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会主催</p>
01/26	けいはんな学研都市第5期ステップアップ検討委員会第2回総会	
01/27	第6回関西水素産業交流ラウンジ	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>講師：パナソニック エレクトリックワークス社 電材&amp;くらしエネルギー事業部 水素事業推進室 室長 山田 剛 氏 NTTアノードエナジー 技術戦略部インキュベーション推進室 担当課長 友納 佐智雄 氏 エノア 再エネ水素システム事業部取締役事業部長 須山 勝政 氏 大阪ガス 経営企画本部企画部カーボンニュートラル推進室室長 栗原 洋介 氏</p> <p>※近畿経済産業局と共催</p>
01/29	第6回次世代空モビリティ実務者会合	・意見交換
02/10	関西航空機産業プラットフォームNEXT 関西航空機産業コミュニティ 第4回セミナー	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題：中小企業における外国人材の採用について</p> <p>講師：大阪産業局 HR戦略部 大阪外国人材採用支援センター 西田 千秋 氏</p> <p>演題：労働生産性向上における高度外国人材の活躍可能性</p> <p>講師：近畿経済産業局 国際部 国際事業課 山田 直幸 氏</p> <p>演題：航空機産業における外国人材の活用事例-1</p> <p>講師：明和機工 代表取締役 小宮 光弘 氏</p> <p>演題：航空機産業における外国人材の活用事例-2</p> <p>講師：神戸工業試験場 代表取締役副社長 鶴井 宣仁 氏</p> <p>演題：経済安全保障の観点からの技術流出対策について</p> <p>講師：近畿経済産業局 国際部 通商課 仲田 ゆり 氏</p> <p>演題：業界の最新動向</p> <p>講師：新産業創造研究機構</p> <p>演題：中堅・中小企業向け施策</p> <p>講師：近畿経済産業局</p>
02/25	関西発「量子×AIで創る次世代競争力」セミナー ～政策・テクノロジー・ビジネス変革の最前線を学ぶ～ ※スタートアップ・エコシステム委員会との連携	<p>・開会挨拶：関西経済連合会 副会長、スタートアップ・エコシステム委員長 澤田 拓子 氏</p> <p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題：量子技術に関する国家戦略</p> <p>講師：内閣府科学技術・イノベーション推進事務局 政策企画調査官 佐藤 彰洋 氏</p> <p>演題：産総研が描く量子技術の企業活用とグローバルエコシステム構築</p> <p>講師：産業技術総合研究所 量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター 副センター長 堀部 雅弘 氏</p> <p>演題：AIビジネスの現在地とAI Transformation</p> <p>講師：テロイド トーマツ マネージングディレクター 越智 隆之 氏</p> <p>演題：量子経営革命～AIだけでは突破できない壁を超える～</p> <p>講師：テロイド トーマツ 量子技術統括 寺部 雅能 氏</p> <p>閉会挨拶(全体総括と今後の展望)： 関西経済連合会 スタートアップ・エコシステム 副委員長 諸富 隆一 氏</p> <p>&lt;ネットワーク&gt;</p>
03/06	先端シーズフォーラム ※関西文化学術研究都市推進機構と共催	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>・情報提供：国のロボット政策について</p> <p>演題：AIロボットと拓く未来社会</p> <p>講師：京都大学大学院情報学研究所 教授 谷口 忠大 氏</p> <p>演題：アバターチャレンジの先にあるもの</p> <p>講師：国際電気通信基礎技術研究所 代表取締役 浅見 徹 氏</p> <p>・パネルディスカッション</p>
03/06	中之島クロス視察会 ※スタートアップ・エコシステム委員会との連携	視察先:中之島クロス
03/17	関西航空機産業プラットフォームNEXTアドバイザーボード	航空機産業大手との「関西航空機産業プラットフォームNEXT」の今後の取り組みに関する意見交換
03/24	科学技術・産業振興委員会担当副会長・正副委員長会議	<意見交換>
03/25	「関西における空飛ぶクルマの将来ビジョン」公表	議題：2025年度委員会活動報告、2026年度運営方針(案)
03/27	けいはんな学研都市第5期ステップアップ検討委員会第3回総会	

03/31	第1回未来創造会議	<p>&lt;議題&gt;</p> <p>①未来創造会議について</p> <p>②最先端技術等の実装化・産業化に向けて</p> <p>&lt;出席者&gt;</p> <p>井野 俊郎 経済産業副大臣 松本 正義 関西経済連合会会長 鳥井 信吾 関西商工会議所連合会会長、大阪商工会議所会頭 三笠 裕司 関西経済同友会代表幹事 武田 家明 近畿経済産業局長 三日月 大造 関西広域連合広域連合長 吉村 洋文 大阪府知事 横山 英幸 大阪市長 松山 泰浩 経済産業省 国際博覧会統括調整官</p>
-------	-----------	--

## ■スタートアップ・エコシステム委員会

開催日	会合名	内容
2025/04/23	JAM EXPO	<p>&lt;パネルディスカッション&gt;</p> <p>テーマ：国際金融都市OSAKAの実現に向けたスタートアップ支援と万博への期待</p> <p>講師：大阪府 政策企画部 成長戦略局 国際金融都市推進監 多田 一也 氏 大阪取引所 代表取締役社長 横山 隆介 氏 関西経済連合会 常務理事・産業部長 久米 一郎 氏</p> <p>&lt;スタートアップピッチ&gt;</p> <p>※大阪府、大阪市、JAMBASE、大阪取引所/東京証券取引所/JPXと共催</p>
04/25	<産総研セミナー>	<p>拡大する蓄電池ビジネスに挑む！～マーケット動向と産総研技術の活用～</p> <p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>演題：蓄電池産業の現状・未来と産総研の取組</p> <p>講師：電気安全環境研究所 顧問、産業技術総合研究所 研究参与 辰巳 国昭 氏</p> <p>演題：電動化の動向とEV新ビジネス創出</p> <p>講師：イグニッション・ポイント 執行役員 パートナー コンサルティング事業本部 イングストリーフォーカス ユニツト責任者 川島 佑介 氏</p> <p>演題：リチウムイオン電池の劣化メカニズムと最先端分析手法による詳細解析</p> <p>講師：産業技術総合研究所 省エネルギー技術研究部門エネルギー変換デバイス研究グループ、電池技術研究部門 上級主任研究員 細野 英司 氏</p> <p>演題：電池技術総合サービスによる「電池ビジネス」のご支援</p> <p>講師：AIST Solutions コーディネート事業本部 連携推進部 コーディネーター 横川 弘 氏</p> <p>※産業技術総合研究所、AIST Solutionsと共催</p>
06/20	丹波の森を通じて考える企業による木材活用とCSR ～「一般社団法人 丹波森林LSC」を通じて～	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>・開会挨拶・丹波ウッドバレー・プロジェクトについて</p> <p>演題：山林を巡る現状と課題</p> <p>講師：フォレスト・ドア 足立 龍男 氏</p> <p>演題：国産地域産材の活用メリットと事例</p> <p>講師：イクジウッド 足立 成人 氏</p> <p>演題：建築空間での活用メリットと事例</p> <p>講師：SAJIHAUS 出町 慎 氏</p> <p>演題：SDGsと企業イメージ・一社の取り組み</p> <p>講師：ミドリカフェ 内田 圭介 氏</p> <p>※シロバレー推進協議会と共催</p>
06/23	デジタル行財政改革の最前線！ 「デジタルによる地域課題解決とローカルインパクト」	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>開会挨拶：</p> <p>演題：公共調達を通じたスタートアップ・自治体連携とデジタル行財政改革</p> <p>講師：内閣官房デジタル行財政改革会議事務局 参事官 小林 剛也 氏</p> <p>演題：デジタルインフラと地方創生 ～地域における社会実装の重要性～</p> <p>講師：さくらインターネット 取締役 前田 章博 氏</p> <p>パネルディスカッション：</p> <p>コーディネーター：内閣官房デジタル行財政改革会議事務局 参事官 小林 剛也 氏</p> <p>セッション①：ローカルインパクトを目指して～都市と地方の新結合</p> <p>登壇者：さくらインターネット 取締役 前田 章博 氏 阪急阪神不動産 執行役員 開発事業本部 副本部長(都市マネジメント担当) 谷口 丹彦 氏 Local PR Plan 代表 安達 廣矢 氏</p> <p>セッション②：地域エコシステム/官民連携・DX化/行政とSUのコラボ/公共調達</p> <p>登壇者：池田泉州銀行 地域共創イノベーション部長 衛藤 章司 氏 兵庫県 産業労働部新産業課 新産業創造 班長 高橋 桐子 氏 マミー・クリスタル 代表取締役 新田 昌恵 氏</p> <p>※さくらインターネット、うめきた未来イノベーション機構と共催</p>
06/25	オープンイノベーション・スタートアップ連携に関する会員企業間の意見交換会(第1回)	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題：大企業側が満たすべき、オープンイノベーション・スタートアップ連携成功の必要条件</p> <p>講師：KDDIオープンイノベーション推進本部 副本部長、ビジネス共創推進室長 館林 俊平 氏 同B推進部3G コアスタッフ 川村 俊介 氏</p> <p>&lt;意見交換&gt;</p> <p>テーマ：新規事業創出活動における課題と解決策について</p>

07/29	丹波の森視察交流ツアー	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FOREST DOOR、山林・製材所の見学</li> <li>・意見交換</li> </ul> <p>※シリ丹バレー推進協議会と共催</p>
08/06	スタートアップ・エコシステム委員会 講演会/担当副会長・正副委員長会議	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題：大学発スタートアップ×大企業のオープンイノベーション事例</p> <p>講師：リージョナルフィッシュ 代表取締役社長 梅川 忠典 氏</p> <p>&lt;会議&gt;</p> <p>議題：2025年度上半期の活動ご報告と今後の取り組み方針について</p>
09/01	福島イノベーション・コースト構想発スタートアップピッチ	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップ企業6社プレゼン</li> </ul> <p>登壇企業：イームズロボティクス、e6s、OKUMA TECH、トレ食、ライスレジン、良品店</p> <p>※福島イノベーション・コースト構想推進機構と共催</p>
09/08	産総研セミナー：未来を「貼る」サステナブル接着革命～ミドリムシ由来の高接着力・易解体を実現するバイオ接着剤～	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>演題：ミドリムシから始まる接着剤開発-藻類培養から化学合成に至る一気通貫型の「藻類化学」の紹介</p> <p>講師：産業技術総合研究所 モレキュラーバイオシステム 研究部門 招聘研究員 芝上 基成 氏</p> <p>演題：ミドリムシ接着剤～高強度30MPaと易解体両立への挑戦、資源循環への礎として～</p> <p>講師：産業技術総合研究所 センシング技術 研究部門 製造センシング研究グループ 研究グループ長 寺崎 正 氏</p> <p>演題：自動車の性能向上と環境負荷低減を実現する車体構造接着技術</p> <p>講師：マツダ R&amp;D戦略企画本部 開発戦略企画部 上席研究員 山本 研一 氏</p> <p>演題：ミドリムシを起点とした一気通貫のバリューチェーン構築へ～藻類化学による社会変革を目指して～</p> <p>講師：AIST Solutions コーディネーター 事業本部 連携推進部 濱崎 任布 氏</p> <p>※産業技術総合研究所、AIST Solutionsと共催</p>
09/16	第5回「JAM EXPO特別企画」～IPO及びM&Aによる成長戦略～	<p>&lt;パネルディスカッション&gt;</p> <p>テーマ：最新のIPO動向とスタートアップへの期待</p> <p>登壇者：ベインキャピタル・ジャパン・LLC 会長 百瀬 裕規 氏</p> <p>セールスフォース・ジャパン 常務執行役、Salesforce Ventures 日本代表パートナー 浅田 賢 氏</p> <p>大阪取引所 代表取締役社長 横山 隆介 氏</p> <p>モデレーター：日本経済新聞社 大阪本社 編集ユニット長 武崎 祥子 氏</p> <p>テーマ：IPO及びM&amp;Aを通じたスタートアップの成長戦略</p> <p>登壇者：野村アセットマネジメント スタートアップ投資 室長 今村 敏之 氏</p> <p>大和企業投資 国内ファンド投資責任者 取締役 後藤 晴武 氏</p> <p>SMBIC日興証券プライベート・コーポレート・ファイナンス本部 副本部長 古株 貴 氏</p> <p>モデレーター：BeLiebe 代表取締役社長 志賀 運葉 氏</p> <p>&lt;エレベーターピッチ&gt;</p> <p>大阪支援塾生及びアジアスタハブによる事業説明</p> <p>※大阪府、大阪市、JAMBASE、大阪取引所/東京証券取引所/JPXと共催</p>
09/19	バイオコミュニティ関西(Biock)シンポジウム「グローバル市場を目指した創薬系スタートアップ創生の加速」	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題：創薬力強化とCDMO</p> <p>講師：Eiki Consulting, LLC President 栄木 憲和 氏</p> <p>演題：Creating successful early stage biotech - two case studies in the UK</p> <p>講師：Senya Therapeutics CEO、大阪大学 招聘教授 竹之下 泰志 氏</p> <p>&lt;パネルディスカッション&gt;</p> <p>テーマ：日米欧の比較により日本の医薬品産業また創薬系スタートアップの強みと問題点</p> <p>パネラー：栄木 憲和 氏、竹之下 泰志 氏、D3LLC CEO 永田 智也 氏</p> <p>高島国際特許事務所 弁理士 駒谷 剛志 氏</p> <p>Greenstaff Lifesciences Associate Director ラナ・ゼイン 氏</p> <p>モデレーター・総括： バイオコミュニティ関西 副委員長 兼 統括 コーディネーター 坂田 恒昭 氏</p> <p>※バイオコミュニティ関西ほかと共催</p>
10/06	関経連DXオープンイノベーションフォーラム ※DX委員会との連携	<p>開会、主催者挨拶：関西経済連合会副会長、DX委員長 小林 充佳 氏</p> <p>演題：～メガバンクOBがご案内する～ 宇宙ビジネスのABC</p> <p>講師：宇宙航空研究開発機構 新事業促進部 松岡 一郎 氏</p> <p>スタートアップ/大学研究室ピッチ： [バイタルセンシング] HAKATTE、あっと、京都橋大学 [VoC(Voice of Customer)] ソーシャル・アイディ、ティライト、はこぶん</p> <p>名刺交換会、個別相談会</p> <p>※関西イノベーションイニシアティブと共催</p>

10/08	自治体が育てる社会課題解決ビジネスのいま、未来！～「地方創生2.0」時代の公共調達の可能性～	<p>第一部 キーノートーク：「地方創生2.0」について 話し手：内閣官房 新しい地方経済・生活環境 創生本部事務局 参事官補佐 加藤 卓 氏</p> <p>可能性～</p> <p>第二部 トークセッション 登壇者： ・生駒市 副市長 領家 誠 氏 ・舞鶴市 企画政策課長 後 厚史 氏 ・近畿経済産業局 ベンチャー支援担当官 創業・経営支援課 統括係長 増井 浩行 氏</p> <p>モデレーター： ・XKANSAIコミュニティ共同発起人/京都知恵 産業創造の森 スタートアップ推進部 次長 金山 裕喜 氏</p> <p>第三部 地域課題リバーピッチ 生駒市、舞鶴市職員による地域課題ピッチ</p> <p>※XKANSAIとの共催</p>
10/21	関西VC/CVC交流会 「関西オープンイノベーション勉強会」(第1回)	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題：大阪・関西万博出展企業によるイノベーションへの取り組み</p> <p>講師：電気事業連合会 大阪・関西万博推進室室長 岡田 康伸 氏</p> <p>パナグループ エキスパート役員 塩谷 愛 氏</p> <p>演題：シリコンバレーの最前線とAI・シンギュラリティの実態</p> <p>講師：Counterpart Ventures Partner &amp; Co-Founder 西条 祐介 氏</p> <p>&lt;パネルディスカッション&gt;</p> <p>テーマ：関西でのイノベーションへの取り組み事例</p> <p>講師：南海電気鉄道 投資部部長 粉川 純一 氏</p> <p>南都キャピタルパートナーズ 代表取締役 堺 敦行 氏</p> <p>モデレーター：MTG Ventures 代表パートナー 伊藤 仁成 氏</p> <p>※大阪府、大阪産業局、大阪商工会議所、大阪イノベーションハブと共催</p>
10/30	まいづる親善大使就任記念 「舞鶴高専アントレプレナーシップ推進フォーラム」	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>第一部：まいづる親善大使就任式 演題：地域と未来を創るアントレプレナーシップ</p> <p>講師：さくらインターネット 代表取締役社長 田中 邦裕 氏</p> <p>第二部：舞鶴高専の取組紹介・舞鶴高専生によるプロジェクト発表会 舞鶴高専の取組紹介 「地域を支え未来を拓く高専教育」 舞鶴高専生によるプロジェクト発表会</p> <p>第三部：意見交換・フリーネットワーキング</p> <p>※舞鶴市との共催</p>
11/05	産総研・関経連共催セミナー 資源循環時代のプラスチック革新～技術・産業・政策の最前線～	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>研究発表①：生分解性プラスチック評価技術と標準化 講師：産業技術総合研究所 モレキュラーバイオシステム研究部門 バイオ分子評価研究グループ 招聘研究員 中山 敦好 氏</p> <p>研究発表②：生分解性プラスチック材料紹介 講師：産業技術総合研究所 モレキュラーバイオシステム研究部門 バイオ分子評価研究グループ 主任研究員 日野 彰大 氏</p> <p>企業事例①：生分解性プラスチックの取組について 講師：カナカ 常務執行役員Green Planet技術 研究所長 西村 理一 氏</p> <p>企業事例②：スマートコンポスト事業から見た生分解性プラスチックの課題 講師：komham 代表取締役 西山 すの 氏</p> <p>企業事例③：プラスチック油化ケミカルサイクルの取り組みについて 講師：三菱ケミカル トランスフォーメーション所管 サステナビリティ・渉外本部 ビジネス・サステナビリティ部長 高野 純一 氏</p> <p>講演：成長戦略としての資源循環経済の確立に向けた取り組みについて 講師：経済産業省イノベーション・環境局GXグループ 資源循環経済課長 三牧 純一郎 氏</p> <p>&lt;情報交換会・ポスター展示&gt;</p> <p>※産業技術総合研究所、AIST Solutionsとの共催</p>
11/27	兵庫県丹波地域モニターツアー	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県丹波地域(丹波篠山市)の見学</li> <li>・意見交換</li> </ul> <p>※シリ丹バレー推進協議会と共催</p>
11/28	オープンイノベーション・スタートアップ連携に関する会員企業間の意見交換会(第2回)	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題：シリコンバレーVCのエコシステム例の紹介</p> <p>講師：Matter Venture Partners 日本代表 高桑 正行 氏</p> <p>演題：老舗VCによるスタートアップの事業開発支援</p> <p>講師：IT-Farm エネルギーパートナー 春日 伸弥 氏</p> <p>&lt;意見交換&gt;</p> <p>テーマ：事業開発(BizDev)に取組む際の各社課題とその解決策について</p>
12/10	KIX-Regional in Kansai	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶：日本経済団体連合会 スタートアップ委員会 企画部会長 齊藤 昇 氏</li> <li>・挨拶：関西経済連合会 副会長 スタートアップ・エコシステム委員長 澤田 拓子 氏</li> <li>・スタートアップピッチ</li> <li>・アーバンエックステクノロジーズ、アジラ、センシロボティクス、Dioptra、Powder Keg Technologies、ハコベル、WAmazing</li> <li>・ネットワーキング</li> </ul> <p>※日本経済団体連合会との共催</p>

2026/01/26	関西VC/CVC交流会「関西オープンイノベーション勉強会」(第2回)	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題: CES2026・最新レポート 講師: 日本経済新聞社 北村 信行 氏、小林 留奈 氏</p> <p>演題: スタートアップの戦略M&amp;Aと企業成長の未来 講師: MTG Ventures 代表パートナー 伊藤 仁成 氏</p> <p>森・濱田松本法律事務所 パートナー 兼 Coalis General Partner 増島 雅和 氏</p> <p>&lt;パネルディスカッション&gt;</p> <p>テーマ: 大企業・CVCとM&amp;A戦略の振り返りと進化 講師: KDDI オープンイノベーション推進副本部長 楢林 俊平 氏、伊藤 仁成 氏、増島 雅和 氏</p> <p>※大阪府、大阪産業局、大阪商工会議所、大阪イノベーションハブと共催</p>
02/25	関西発「量子×AIで創る次世代競争力」セミナー～政策・テクノロジー・ビジネス変革の最前線を学ぶ～ ※科学技術・産業振興委員会との連携	<p>・開会挨拶: 関西経済連合会 副会長、スタートアップ・エコシステム委員長 澤田 拓子 氏</p> <p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題: 量子技術に関する国家戦略 講師: 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 政策企画調査官 佐藤 彰洋 氏</p> <p>演題: 産総研が描く量子技術の企業活用とグローバルエコシステム構築 講師: 産業技術総合研究所量子・AI融合技術ビジネス開発 グローバル研究センター 副センター長 堀部 雅弘 氏</p> <p>演題: AIビジネスの現在地とAI Transformation 講師: テロイト トーマツ マネージングディレクター 越智 隆之 氏</p> <p>演題: 量子経営革命 ～AIだけでは突破できない壁を超える～ 講師: テロイト トーマツ 量子技術統括 寺部 雅能 氏</p> <p>・閉会挨拶: 関西経済連合会 スタートアップ・エコシステム委員会副委員長 諸富 隆一 氏 ・ネットワークング</p>
03/06	中之島クロス視察会 ※科学技術・産業振興委員会との連携	視察先: 中之島クロス
03/06	スタートアップ・エコシステム委員会担当副会長、正副委員長会議	<p>&lt;意見交換&gt;</p> <p>・2025年度事業報告 ・2026年度事業計画(案)</p>

## ■地球環境・エネルギー委員会

開催日	会合名	内容
2025/07/10	地球環境・エネルギー委員会講演会	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題: 気候変動、食料、エネルギー～統合評価から考える持続可能な社会と経済～ 講師: 立命館大学 総合科学技術研究機構 教授 長谷川 知子 氏</p>
07/18	羽田イノベーションシティ「CO-CREATION PARK KAWARUBA」視察会	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題: 水素社会の実現に向けて 講師: ドリームインキュベータ 執行役員 金子 剛 氏</p> <p>演題: 水素航空機の開発と今後の展望 講師: 川崎重工 エグゼクティブフェロー 筋 雅英 氏</p> <p>&lt;視察先&gt; CO-CREATION PARK KAWARUBA ロボテレストラン AI.SCAPE</p>
09/22～25	水素社会体感ツアー～水素サプライチェーンのリアルな姿を現地で視察～ (イベント企画: 川崎重工、パナソニックグループ、岩谷産業)	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>・神戸水素コージェネレーションシステム ・神戸液化水素荷役実証ターミナル ・パナソニックエナジー 二色の浜工場 ・水素燃料電池船「まほろば」 ・大阪・関西万博会場</p>
09/30	福井県原子力発電所所在市町協議会と関西経済連合会との原子力・エネルギー政策に関する意見交換	<p>&lt;意見交換&gt;</p> <p>議題: 原子力・エネルギー政策等に関して &lt;視察先&gt; 大阪・関西万博会場</p>
10/08	地球環境・エネルギー委員会講演会	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題: 生物多様性と人間社会～グローバル化がもたらす生物学的侵入リスク～ 講師: 国立環境研究所 生物多様性領域 生態リスク評価・対策研究室 五箇 公一 氏</p>
12/15	地球環境・エネルギー委員会講演会	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題: 地球温暖化と異常気象～科学的知見から読み解く気候リスク～ 講師: 東京大学 先端科学技術研究センター 准教授 小坂 優 氏</p>
2026/01/23	地球環境・エネルギー委員会講演会	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題: 成長戦略としての原子力 講師: 早稲田大学 研究院 教授 遠藤 典子 氏</p>
03/06	関西エネルギー探究フィールドツアー	<p>&lt;視察先&gt;</p> <p>・岩谷産業 中央研究所 水素技術研究所</p> <p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>・水素関連技術セミナー ・陸上養殖技術セミナー ・研究設備視察</p>
03/18	地球環境・エネルギー委員会エネルギー・環境部会	<p>&lt;意見交換&gt;</p> <p>・2026年度運営方針(案) ・2025年度事業報告</p>
03/27	地球環境・エネルギー委員会担当副会長、正副委員長会議	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題: エネルギー政策の現状と今後の方向性 講師: 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー・主席研究員 秋元 圭吾 氏</p> <p>&lt;意見交換&gt;</p> <p>・2026年度運営方針(案) ・2025年度事業報告</p>

## ■国土・広域基盤委員会(リニア・北陸新幹線専門委員会)

開催日	会合名	内容
2025/05/12	北陸新幹線建設促進大会・令和7年度北陸新幹線建設促進同盟会総会・合同中央要請	要請先: 鈴木俊一自民党総務会長、福田朋美自民党整備新幹線等鉄道調査会会長、渡海紀三朗与党整備新幹線建設推進PT座長、竹内謙与党教員・新大阪開業準備委員会委員長代理、中川宏昌公明党 北陸信越方面本部長、中山光輝財務省主計局次長、富樫博之総務副大臣、古川康国土交通副大臣
05/20	2025年度 企業防災セミナー	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>演題: 南海トラフ地震への備え 講師: 内閣府 政策統括官(防災担当)付参事官(調査・企画担当)付参事官補佐 齋藤 公一 滝 氏</p> <p>演題: 関西広域連合の広域防災の取組 講師: 関西広域連合 広域防災局 広域企画課 課長 多鹿 雅彦 氏</p>
05/21	新名神高速道路 現地視察	<p>&lt;視察先&gt;</p> <p>新名神高速道路 (八幡京田辺～高槻) 梶原トンネル (大津～城陽) 城陽高架橋、城陽スマートIC (八幡京田辺～高槻) 枚方トンネル東坑口発達立坑</p>
07/20	関西国際空港全体構想促進協議会 令和7年度総会	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>①関西国際空港の概況について ②役員選出の件 ③令和6年度事業報告及び収支決算報告の件 他</p>
08/07	関西高速道路ネットワーク推進協議会 要望活動	要望先: 富山英範国土交通省道路局官房審議官、三浦逸広国土交通省都市局大臣官房審議官、森橋真国土交通省港湾局大臣官房技術参事官、山川清徳財務省主計局主計官
08/26	防災庁地方拠点の関西への設置に係る要望活動	要望先: 赤澤亮正 防災庁設置準備担当大臣
09/11	第5回2025年大阪・関西万博交通円滑化推進会議	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>①万博TDMの取組及び検証結果 ②TDM機運醸成に向けた取組 ③会期終盤に向けた広報 他</p>
10/08	国土・広域基盤委員会担当副会長、正副委員長会議	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>2025年度上期の活動結果および下期の活動方針(案)</p>
10/24	関西高速道路ネットワーク推進協議会 要望活動	要望先: 鈴木俊一自民党幹事長、齋藤鉄夫公明党代表、中司宏日本維新の会幹事長、新川浩明財務省事務次官、水島智国土交通省事務次官
11/05	関西国際空港全体構想促進協議会 要望活動	要望先: 鶴保庸介参議院議員、赤羽一嘉衆議院議員、永井学国土交通省大臣政務官 他
11/07	国際物流戦略チーム 荷主意見交換会	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>①国際物流戦略チームについて ②意見交換会</p>
11/12	食輸出セミナー&商談会2025	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>産地視察・セミナーの開催およびバイヤー招聘型の商談会を実施。 &lt;セミナー&gt;</p> <p>演題: 輸出に茶レンジ!!新たなお客様をつかもう! 講師: 舞枝の茶本舗</p> <p>演題: 三越伊勢丹・海外拠点、食の販路拡大 取り組み事例(東南アジア) 講師: 三越伊勢丹</p> <p>演題: 生鮮食品の輸出について 講師: 日本通運</p> <p>商談会参加バイヤー: SHINWA Pte. Ltd.、Kampachi Restaurants、BIRDLANE COMPANY LIMITED、三越伊勢丹</p>
12/18	第8回2025年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>大阪・関西万博来場者輸送実績報告書(案)</p>
2026/01/13	第7回大阪湾夢洲地区の物流に関する懇談会	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>①夢洲における物流交通対策について ②万博工事中の道路交通状況について ③万博開催期間中の道路交通状況等について</p>
01/18	第15回関西3空港懇談会	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>①関西3空港の運営概況及びこれまでの合意の進捗 ②意見交換</p>
01/21	関経連BCPセミナー(第1回)	<p>演題: BCPの効活性向上に向けた見直しポイントとサプライチェーン対策 講師: SOMPOリスクマネジメント クライシスマネジメントコンサルティング部 BCM第1グループ 上級コンサルタント 浅野 裕美 氏 コンサルタント 柳川 晴香 氏</p>
01/26	国際物流戦略チーム 第38回幹事会	<p>&lt;講演&gt;</p> <p>①大阪湾夢洲地区の交通対策について ②「今後の取組」の改定に向けて</p>
02/10	企業と自治体等との防災に関する連携好事例 展開セミナー	<p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>1. 有識者による講演 演題: 災害対応、事前防災における企業・自治体間連携の重要性～阪神・淡路、東北、熊本、能登の地震の経験から～ 講師: 兵庫立大学 減災復興政策研究科 教授 阪本 真由美 氏</p> <p>2. 企業と自治体等との連携事例の紹介 ①関西広域連合 ・企業と連携した取組について ②損害保険ジャパン 神戸支店 ・AIRオートクラブとの連携による「災害時帰宅支援ステーション」の取組について ③北港運輸 ・地域住民の観点も含めた自社ビルの津波対応強化(津波避難ビルへの指定) ④西尾レントオール ・自治体との協定によるレンタル資機材の供給と啓発イベントを含めた「フェーズフリー」な場づくり ⑤阪神電気鉄道 ・阪神・淡路大震災で被災した経験を持つ鉄道事業者としての役割～社員の防災意識向上と沿線自治体との連携による自然災害に強い沿線づくり～</p> <p>3. 会場からの質疑応答 4. 連携事例に対する講師からのコメント</p>

02/20	関経連BCPセミナー(第2回)	演題:実効性向上と実践への展開 講師:SOMPOリスクマネジメント クライシスマネジメントコンサルティング部 BCM第1グループ 上級コンサルタント 浅野 裕美 氏 コンサルタント 柳川 晴香 氏
03/06	国際物流戦略チーム 第20回本部会合	<議題> ①大阪湾・瀬戸内海地区の交通対策について ②幹事会の開催結果について ③「今後の取組」の改定に向けて
03/12	国土・広域基盤委員会 担当副会長 正副委員長会議	<議題> ①2025年度の主な活動および今後の進め方 ②2026年度委員会運営方針(案)

## ■都市・観光・文化委員会(都市創造専門委員会)

開催日	会合名	内容
2025/05/12	都市創造専門委員会 ワーキンググループ	<視察> GLION ARENA KOBE
07/14	都市創造専門委員会 ワーキンググループ	<視察> 名護市大規模プロジェクト
08/20	都市・観光・文化委員会及び都市 創造専門委員会 担当副会長・正 副委員長・専門委員長会議	<講演> 演題:関西観光本部の活動状況と連携強化 講師:関西観光本部 専務理事 東井 方隆 氏 演題:世界のMICE潮流と経済界が関与すべき MICE 講師:日本政府観光局 MICEプロモーション部長 巽 真理子 氏 <報告> ①Music Loves Art2025について ②夢洲2期について
10/07	第1回MICE振興検討 ワーキンググループ	<報告・意見交換>
10/24	第2回MICE振興検討 ワーキンググループ	<報告・意見交換>
10/31	都市創造専門委員会 ワーキンググループ	<意見交換> 議題:今後のまちづくりの方向性(東西軸等)
11/07	都市創造専門委員会 ワーキンググループ	<視察> 新大阪周辺
11/18	都市・観光・文化委員会 講演会	<講演> 演題:文化財や伝統工芸 講師:京都村正 代表 村山 和正 氏 演題:Art Collaboration Kyoto 講師:エーシーケー 理事 服部 陽子 氏 <パネルディスカッション> パネリスト 文化庁 審議官 松坂 浩史 氏 ORIGINAL Inc.代表取締役 / タイムアウト 東京代表 伏谷 博之 氏 京都府文化生活部 理事 大石 正子 氏 ※BIZ+MUSEUM KANSAI実行委員会と共催
11/24	第3回MICE振興検討 ワーキンググループ	<報告・意見交換>
12/04	第1回広域観光推進 ワーキンググループ	<報告・意見交換>
12/18	第4回MICE振興検討 ワーキンググループ	<報告・意見交換>
12/23	第2回広域観光推進 ワーキンググループ	<報告・意見交換>
2026/01/15	第3回広域観光推進 ワーキンググループ	<報告・意見交換>
02/24	都市・観光・文化委員会	<議題> ・関西観光本部からの活動報告 関西観光本部 専務理事 加藤 進 氏 ・重点テーマワーキンググループ結果報告・意見交換 ①万博レガシーとしての広域観光推進に向けた検討 ワーキンググループ 阪急電鉄 執行役員 松尾 友佳子 氏(副委員長、ワーキンググループ座長) ②IR開業を見据えたMICE振興による多面的な効 果創出検討ワーキンググループ コングレ 代表取締役社長 武内 紀子 氏(副委員長、ワーキンググループ座長)
03/04	都市創造専門委員会 ワーキンググループ	<講演・意見交換> 演題:今後のまちづくり戦略の方向性 講師:大阪公立大学大学院工学研究科 教授 嘉名 光市 氏
03/18	都市創造専門委員会	<講演・意見交換> テーマ:これからの自動運転技術とまちづくり 講演:これからの自動運転技術とまちづくり 講師:早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授 森本 章倫 氏 講演:瀬五郷における自動運転の実証実験について 講師:神戸市 都市局 部長(交通担当) 久保 真成 氏 日産自動車総合研究所 モビリティ&AI 研究所 エキスパートリーダー 木村 健 氏 講演:物流における自動運転の取り組み 講師:T2 代表取締役CEO 熊部 雅友 氏 意見交換(質疑応答)

## ■DX委員会

開催日	会合名	内容
2025/05/15	第1回デジタルキャリア講座	<講義> 演題:DX概論~DXとは?~ 講師:セールスフォース・ジャパン執行役員、 関西支社長 佐藤 亮 氏
05/22	第2回デジタルキャリア講座	<講義> 演題:DX概論~DX事例(ビジネスモデル変革)~ 講師:セールスフォース・ジャパン 関西支社 エンタープライズ営業第一本部 第五営業部 部長 金子 昌 氏
05/23	第5回 DX-Dojo (メンバーシップ部会共催)	<講演> 演題:外部団体との連携によるDX推進 (同志社大との産学連携) 講師:コマツ 代表取締役社長 小松 智 氏 ファシリテーター: 関西経済連合会 DX委員会副委員長 (アクセンチュア 常務執行役員)水田 響 氏 <意見交換>
06/05	DX委員会正副委員長会議	<意見交換> 議題: ①DX支援機関連携のトライアル ②第5回DX-Dojoの報告・今後の企画案 ③2026年度以降の戦略のあり方・進め方 他
06/12	第3回デジタルキャリア講座	<講義> 演題:DX概論~DX事例(サプライチェーン変革)~ 講師:セールスフォース・ジャパン エンタープライズ営業第一本部 第三営業部 部長 萩尾 和隆 氏
07/28	第4・5回デジタルキャリア講座	<講演> 演題:カナディアの社会課題解決にむけた挑戦 ~ごみ・エネルギー・水など環境問題を自分 事として考える契機に~ 講師:カナディア ICT推進本部 デジタル戦略企画 室長 白川 哲也 氏
07/30	DX委員会 講演会	<講演> 演題:SGホールディングスグループDX戦略 ~お客さまおよび社会において必要不可欠な 存在(=インフラ)であり続ける~ 講師:SGホールディングス 経営企画部 部長 南部 一貴 氏
08/04	第8回デジタルキャリア講座	<講義> 講師:関西経済連合会 DX委員会副委員長 (カナディア 取締役兼常務執行役員 ICT推進本部長) 橋爪 宗信 氏 カナディア ICT推進本部 デジタル 戦略企画室長 白川 哲也 氏
08/07	2025年度第1回 関西広域 データ活用 官民研究会	<意見交換> 議題:「データ整備・利活用等取組状況と課題」 調査について 議題:「生成AIを活用したデータ整備実証」について 議題:大阪府「自治体データ連携基盤共有化研究会」 の進捗状況説明 講師:関西広域データ活用 官民研究会 ファシリテーター(立命館大学 情報理 工学部教授) 西尾 信彦 氏 セールスフォース・ジャパン Tableau 事業統括 エンタープライズ第3営業部 公共・広域営業部 統括部長 徳政 由美子 氏 大阪府スマートシティ 戦略部戦略推進室 戦略企画課長 狩野 俊明 氏
09/05	データ連携基盤の共同利用普及及促 進セミナー (2025年度第1回 都市OSワーキ ング・プラットフォームサブワー キング 合同ワーキング/2025年 度第2回 関西広域データ活用 官 民研究会)	<セミナー> 演題:ORDENの共同利用による広域観光実証 チャレンジ 講師:大阪府スマートシティ戦略部戦略推進室 戦略企画課長 狩野 俊明 氏 演題:人流データから見た万博周遊観光の実態 講師:プログウォッチャー 観光事業部 おでかけ研究所 下村 憲司 氏 演題:AI観光案内アプリ「めぐるっと」で生まれた広 域周遊促進のポイント 講師:New Ordinary 代表取締役CEO 作井 孝至 氏 演題:サイバートロフィーが創る、新たな周遊観光 のかたち。行動を可視化し、価値に変え、信 用につなげる。 講師:Continuum.Social 代表取締役社長 泉 征弥 氏 <パネルディスカッション> テーマ:データ連携基盤の共同利用効果や広域 ユースケースの導入効果について ファシリテーター:都市OSワーキング座長 (青森大学ソフトウェア情報学 部教授・大阪大学名誉教授) 下條 真司 氏 パネリスト:実証参加団体・企業4名、 関西広域データ活用 官民研究会 立命館大学 情報理工学部 教授 西尾 信彦 氏 テーマ:スーパーシティにおけるデータ連携基盤 の整備・利活用について 講師:内閣府 地方創生推進事務局企画調整官 有田 翔伍 氏 展示・交流会: ・New ordinary ・Continuum.Social ・プログウォッチャー



04/21	エー・ウィン ミャンマー商工会議 所連合会 会頭との懇談	
04/21	クリアンクライ・ティエンヌクン タイ 工業連盟 会長との懇談	
04/22	エヌーナ・V・マンジョ フィリピン 商工会議所 会頭との懇談	
04/23	李慶福 中国国際貿易促進委員会 副 会長との懇談	
04/25	アルノルド・アンドレ・ティノコ コスタ リカ外務大臣表敬訪問	
05/07	許浩 上海市松江区投資促進と企業 服務 中心主任一行との懇談	
05/09	菅維維 上海市経済団体連合会会長 との懇談	
05/15	2025年度第一回西日本経済協議会 国際分科会	
05/19	中華民国工商協進会とのビジネス 交流会	
05/20	宋崎 中国昆山市 副市長との懇談	
05/21	オランダラウンドテーブル会議	
05/29	医療介護部会セミナー	<p>&lt;基調講演&gt; 演題：介護テクノロジー・ICTを活用した 生産性向上の取組について 講師：厚生労働省 老健局 高齢者支援課 介護業務効率化推進官 長谷田 麗子 氏</p> <p>&lt;シンポジウム&gt; テーマ：外国人×ICT教育=未来の介護を支える力に 講師：厚生労働省 介護業務効率化推進官 長谷田 麗子 氏 ウェルグループ 介護DX推進 リーダー・OJT推進委員 ガイレ・ラスクマン 氏 奈良東病院グループ教育・DX推進部 部長 藤原 孝之 氏</p>
06/04	ナジル・ラザク ASEANビジネス 諮問委員会 議長との懇談	
06/19	ミハワ・クリマシェフスキ ポーランド 牛肉飼育、酪農連盟 副所長との 懇談	
06/27	ピーター・パーク アイルランド 産 業・観光・雇用大臣との懇談	
07/03	マイケル・マーティン アイルランド 首相を主賓にお迎えしたイブ ニングレセプション	
07/10	エヌーナ・V・マンジョ フィリ ピン商工会議所 会頭をトップとす るフィリピン商工会議所フィリ ピン日本ビジネス協議会との懇談	
07/15	ベンツェ・ゲルラキ ハンガリー国 務長官との懇談	
07/16	第3回中国国際サプライチェーン 促進博覧会	
07/22	公益財団法人りそなアジア・オセ アニア財団[第55回セミナー] 成長 の鍵を握る知財戦略	<p>&lt;講演&gt; 演題：成長の鍵を握る知財戦略 第1部「経営戦略と事業戦略と知財戦略のリンケ ージについて」 講師：SCREENホールディングス代表 取締役 取締役社長 最高経営責任者 (CEO) 廣江 敏朗 氏 第2部「AI・DX時代の知的財産戦略について」 講師：経済産業省 特許庁 総務部長 滝澤 豪 氏</p>
07/31	英国の産業戦略に関する懇談	
08/28	ドイナ・ニストル モルドバ共和国 副首相との懇談	
09/02	ニル・バルカット イスラエル経済 産業大臣との昼食会	
09/08	KADIN Business Week	
09/11	マリア・クリスティーナ・ロケ フィリ ピン共和国貿易産業大臣との懇談	
09/18	ハンガリー領事館オープニングセ レモニー	
09/29	キム・ギョムミ 大韓貿易投資振興 公社 大阪貿易館長との懇談	
10/03	クリアンクライ・ティエンヌクン タイ 工業連盟 会頭を団長とする視察団	
10/10	国際講演会「中国最新経済情勢と日 本」	<p>&lt;講演&gt; 演題：中国最新経済情勢と日本 講師：在広州日本国総領事 貴島 善子 氏</p>
10/14	国際委員会担当副会長・正副委員 長 スタッフ会議	<p>&lt;議題&gt; ①2025年度事業進捗報告 ②今後の取り組みについての説明</p>
10/17	公益財団法人りそなアジア・オセ アニア財団[第56回セミナー] イ ンドの最新ビジネス事情	<p>&lt;講演&gt; 演題：インドの最新ビジネス事情 第1部「魅力あるインド市場と我が社のインドでの 30年の歩み」 講師：サカイクラス 取締役 専務執行役員 福永 俊彦 氏 第2部「世界が目指すインド」 講師：日本総合研究所 国際戦略研究所理事長 元駐インド特命全權大使 平松 賢司 氏</p>
10/24	国際委員会担当副会長・正副委員 長会議	<p>&lt;議題&gt; ①2025年度事業進捗報告 ②今後の取り組みについての説明、及び意見交換</p>
10/24	国際講演会「経済安全保障政策の主要 ポイント～激変する国際情勢へ の対応～」	<p>&lt;講演&gt; 演題：経済安全保障政策の主要ポイント ～激変する国際情勢への対応～ 講師：経済産業省 貿易経済安全保障局 審議官(貿易経済安全保障局担当) 西脇 修 氏</p>
10/28	ナンシー・ゴードン オーストラ リア万博政府代表、マーガレット・ ポーエン 在大阪オーストラリア総 領事館 総領事との懇談	

11/06	第69回関経連インターナショナル ・クラブ	・大阪・関西万博の成功を共に喜ぶ会
11/17	公益財団法人りそなアジア・オセ アニア財団 第13回環境シンポジ ウム「いとおしさと愛着 ～未来の 「ものづくり」を考える～」	<p>&lt;講演&gt; 基調講演1：いまなぜ民藝か 講師：明治大学 理工学部 准教授 鞍田 崇 氏 基調講演2：綺麗な地球と漆文化を次世代に 講師：堤浅吉漆店 代表取締役 堤 卓也 氏 基調講演3：もったいないを価値に変える蒸留 プラットフォーム構想 講師：エシカル・スピリッツ 代表取締役CEO 小野 力 氏</p> <p>パネルディスカッション： パネリスト：鞍田 崇 氏、堤 卓也 氏、小野 力 氏、 岡橋 達哉 氏(公益財団法人りそなア ジア・オセアニア財団理事長) コーディネーター：総合地球環境学研究所 名誉教授 阿部 健一 氏</p>
12/16	海外投資セミナー(大阪) ～わが国製造業企業の海外事業展 開調査(第36回)	<p>&lt;プログラム&gt; 開催挨拶：JBIC 産業ファイナンス部門 執行役員 大阪支店長 丸山 具彦 氏 テーマ：2026 年国際情勢の見通し 講師：JBIC 企画部門 執行役員調査部長 川上 直 氏 テーマ：「2025 年度海外事業展開調査」結果報告 講師：JBIC 企画部門 調査部第1ユニット 調査役 浅井 瑞季 氏</p>
2026/01/19 ～01/23	第46回関経連アセアン経営研修	<p>主な訪問先：金剛組、バナソニックミュージアム、 藤田金属、関西化学術研究所都市推進 機構、東し建設トレファーム等 主な行事：ウェルカムパーティー、企業経営者による 講演、企業視察、関西化学術研究所 市視察、クロージングセレモニー、フェ アウェルパーティー等 その他：1月13日にオンラインにて来日前プログラ ムオリエンテーション等を実施</p>
01/26	APEC/ABAC 2025 年 大阪報告会	<p>&lt;プログラム&gt; 演題：APEC 高級実務者からのご報告 講師：経済産業省 通商政策局通商交渉官 田村 英康 氏 外務省 経済局 アジア太平洋経済協力 室長 須田 敦 氏 演題：ABAC 日本委員からの報告 講師：鈴木 純 委員 (南シニア・アドバイザー) 池田 潤一郎 委員 (商船三井 取締役会長) 古澤 満宏 委員 (三井住友銀行 国際金融研究所理事長)</p>
01/28	公益財団法人りそなアジア・オ セアニア財団[第57回セミナー] 2026年の世界・日本、関西経済を 展望する	<p>&lt;講演&gt; 演題：2026年の世界・日本、関西経済を展望する 第1部：トランプ政権2年目、激変する世界 講師：日本経済新聞社 本社 コメンテーター 秋田 浩之 氏 第2部：最近の内外経済情勢と関西経済 講師：日本銀行 理事 大阪支店長 正木 博 氏</p>
01/30	リチャード・N・ラーセン 在大阪・ 神戸米国総領事館 総領事との懇談	
02/02	国際委員会担当副会長・正副委員 長 スタッフ会議	<p>演題： ①2025年度下期事業報告 ②2026年度事業について</p>
02/12	ASEANコネク、急成長する ASEAN市場の理解 ※スタートアップ・エコシステム 委員会との連携	<p>演題： ・マクロ市場インサイト：シンガポール、フィリピン、 ベトナム、インドネシアの市場概要 ・規制：投資環境(外資規制)およびデジタルサービ ス規制 ・消費トレンド：現地ビジネス文化と急速な消費行 動に関するインサイト ・参入方法：投資法、サプライチェーン、 Go-to-Market戦略のポイント 講師： ・Kevin Leung (シンガポール) &lt;大学&gt; プログラムディレクター、GRIP、シンガポール 国立大学、Singapore Enterprise ・Atty. Leandro Aguirre(フィリピン) &lt;政府機関&gt; 事務次官、情報通信技術省(DICT)、Head, Office for Strategic Initiatives and Industry and Competency Development (OSIICD) ・Cong-Thang Huynh(ベトナム)&lt;エコシステムビル ダー&gt; Co-Founder &amp; Chairman, InnoLab Asia ・Mulyawan Gani(インドネシア)&lt;財閥、投資家&gt; チーフトランスフォーメーションオフィサー、 Sinar Mas Land / Living Lab Ventures</p>
02/13	国際委員会担当副会長・正副委員 長会議	<p>&lt;議題&gt; ①2025年度下期事業報告 ②2026年度事業について ③意見交換</p>
02/17	2026年を俯瞰する～世界経済と日 本の生きる道～と最近の金融経済 情勢についての時局・時事講演会	<p>&lt;講演&gt; 演題：2026年を俯瞰する～世界経済と日本の生き る道～ 講師：嘉悦大学 副学長 真田 幸光 氏 演題：最近の金融経済情勢 講師：日本銀行 大阪支店 副支店長 大塚 竜 氏</p>
03/02	関経連米・カナダ経済調査団事 前勉強会	<p>&lt;講話&gt; 演題：米・カナダをとりまく政治・経済情勢 (西海岸の事情を中心に) 講師：住友商事グローバルリサーチ 経済部 担当部長、チーフエコノミスト 本間 隆行 氏</p>
03/06	SMF Japan Mission Trip 2026 一団との懇談	
03/08～ 03/15	関経連米・カナダ経済調査団	<p>団長：国際委員長 鈴木博之氏 訪問先：政府・関係機関、大学・イノベーション・ スタートアップ支援組織、企業・スタート アップ、日本総領事館、ジェトロ・サンフ ランシスコ事務所など</p>

03/18	公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団 [第58回セミナー] ポスト万博、その先へ～関西経済を再構築する一歩～	＜テーマ＞ポスト万博、その先へ～関西経済を再構築する「次なる一歩」～ 演題：2030年アジアNo.1の国際文化都市を目指して 講師：大阪観光局 理事長 溝畑 宏 氏 演題：万博のレガシーが変える関西の未来 講師：りそな総合研究所 主席研究員 荒木 秀之 氏
03/25	食の多様性推進ラウンドテーブル 第4回総会	＜プログラム＞ ・式次第およびラウンドテーブルの趣旨説明 ・活動報告、参画企業・団体からの活動プレゼン

09/03	スポーツ振興委員会・D&I専門委員会 講演会	＜講演＞ 演題：女性のための心と体の健康支援・ヘルスケア～医療と運動・スポーツが果たす役割～ 講師：京都大学大学院 医学研究科 婦人科学産科学助教 江川 美保 氏 元プロサッカー選手(元なでしこジャパン) 融星運輸 代表取締役 阪口 夢穂 氏
-------	------------------------	--

09/09	第13回 明日のビジネスを担う女性たちの交流会in大阪	＜テーマ＞ ・成長を美でできた経験 ・キャリアに影響を与えた人物とどのような好影響をもたらしたのか ・役員のポジションにチャレンジした動機や経緯、昇進後のやりがいや醍醐味と、本人と会社にもたらした変化 ・明日のビジネスを担う女性たちへのメッセージ パネリスト：東レアルファート 取締役 経営管理部門長 鈴木 明子 氏 KNT-CT ホールディングス 執行役員 社長室 部長 勝山 秀美 氏 日本新薬 執行役員 人事部長 中西 陽子 氏 コーディネーター：公益財団法人21世紀職業財団 関西事務局長 佐野 由美 氏
-------	-----------------------------	--

09/12	メンバーシップ部会 見学会	見学会：大阪・関西万博会場
09/18	人事労務部門ネットワーク	意見交換：人への投資「人材データベースの活用」について

09/25	労働情報講演会	＜講演＞ 演題：行政指導への対応～近年の傾向と企業の対応策～ 講師：野口&パートナーズ法律事務所 弁護士 大浦 綾子 氏
-------	---------	--

09/26	労働政策委員会・D&I専門委員会 スタッフ会議	＜議題＞ ・企業と労働市場の変化を踏まえた政策提言(骨子案)について ・外国人材の受け入れ・活躍および地域社会との共生に向けた提言(骨子案)について
-------	-------------------------	--

10/02	労働政策委員会	＜講演＞ テーマ：新しい時代の働き方を実現していく上で企業が留意すべき事項 講師：森・濱田松本法律事務所 パートナー 弁護士 荒井 太一 氏 ＜意見交換＞ 企業と労働市場の変化を踏まえた政策提言(骨子案)について
-------	---------	--

10/10	D&I専門委員会	＜講演＞ テーマ：外国人労働者政策を巡る内外の状況～欧米の経験と日本の課題～ 講師：日本総合研究所 調査部 調査部長/チーフエコノミスト/主席研究員 石川 智久 氏 ＜意見交換＞ 外国人材の受け入れ・活躍および地域社会との共生に向けた提言(骨子案)
-------	----------	--

10/20	秋季労使セミナー	演題：労働基準法の改正に向けて 講師：京都大学大学院 法学研究科教授 島田 裕子 氏 (労働基準関係法制研究会委員)
-------	----------	---

10/29	企業と外国人留学生との交流会	＜交流会＞ 交流会ファシリテーター： 関西高度外国人材活躍地域コンソーシアムコーディネーター 吉田 圭輔 氏 参加企業：阪急阪神ホールディングス、三菱商事ほか
-------	----------------	--

11/06	労働政策委員会・D&I専門委員会 スタッフ会議	＜議題＞ ・企業と労働市場の変化を踏まえた政策提言(本文案) ・外国人材の受け入れ・活躍および地域社会との共生に向けた提言(本文案)
-------	-------------------------	--

11/11	女性のエンパワメント交流会	＜講演＞ 講師：川崎重工業 社外取締役 メラニー ブロック 氏 ファシリテーター：D&I専門委員長 (川崎重工業 取締役 (監査等委員)) 柿原 アツ子 氏
-------	---------------	--

11/12	労働政策委員会/D&I専門委員会 担当副会長・正副委員長会議	＜議題＞ ・企業と労働市場の変化を踏まえた政策提言(本文案) ・外国人材の受け入れ・活躍および地域社会との共生に向けた提言(本文案) ・関西財界セミナー第4分科会「外国人材の受け入れ・活躍と地域社会との共生を考える」報告
-------	--------------------------------	---

11/18	メンバーシップ部会	＜提言に関する意見交換＞ ＜講演＞ 演題：中堅・中小企業の現場におけるAIの活用について 講師：ブリッジ・ソリューション 代表取締役 坂本 俊雄 氏
-------	-----------	---

11/27	外国人留学生とOB・OGの懇談会	第1部 就職ガイダンス テーマ：内定獲得のためのESの書き方、筆記試験・面接対策 講師：Transcend-Learning 吉田 圭輔 氏 第2部 留学生OB・OG、就職内定者とのトークセッション テーマ：就職活動において、今すべきこと パネリスト：2025年度卒業予定の留学生就職内定者 ファシリテーター：Transcend-Learning 吉田 圭輔 氏 第3部 外国人留学生とOB・OGの懇談会 ゲスト：企業勤務のグローバル人材(元留学生) 住友電気工業、カワソーテックセル他
-------	------------------	---

12/11	人事労務部門ネットワーク	・意見交換：人への投資「職務記述書・役割定義書の活用」について
-------	--------------	---------------------------------

## ■労働政策委員会 (D&I専門委員会)

開催日	会合名	内容
2025/05/16	D&I専門委員会 講演会、意見交換会	＜講演＞ 演題：常にこどものために。時にはこどものように。 講師：こども家庭庁長官 官房長 中村 英正 氏 ＜意見交換＞
05/23	第5回 DX-Dojo (メンバーシップ部会共催)	＜講演＞ テーマ：外部団体との連携によるDX推進 (同志社大との産学連携) 講師：コマツ 代表取締役社長 小松 智 氏 ファシリテーター：アクセンチュア 常務執行役員 水田 馨 氏 ＜意見交換＞
06/10	D&I専門委員会 講演会	＜講演＞ 演題：ミッションを果たすために必要なこと～異業種で培ったリーダーシップとチーム・ビルディング～ 講師：奈良女子大学 工学部 非常勤講師 竹本 三保 氏(元海上自衛隊1等海佐)
06/25	労働政策委員会・D&I専門委員会 スタッフ会議	議題： ・企業と労働市場の関係性の変化を踏まえた提言(概要) ・外国人材の活躍に向けた提言(概要)
07/01	人事労務部門ネットワーク	テーマ： ・「人への投資」の方向性 ・その他
07/03	労働政策委員会・D&I専門委員会 講演会	＜講演＞ 演題：人は、AIと共に進化する企業は今、変わらなければならない 講師：ハピネスプラネット CEO、日立製作所フェロー、東京工業大学 特定教授 矢野 和男 氏
07/03	労働政策委員会・D&I専門委員会 担当副会長・正副委員長会議	＜議題＞ ・企業と労働市場の関係性の変化を踏まえた提言(概要) ・外国人材の活躍に向けた提言(概要)
07/16	グローバル人材活用運営協議会 総会・講演会	＜講演＞ 演題：日本における留学生受入れの現状と課題、そして展望 講師：一橋大学 全学共通教育センター 教授 太田 浩 氏
08/04	女性のエンパワメント交流会	講師：ダイフク 社外取締役 神崎 夕紀 氏 ファシリテーター：D&I専門委員会 副委員長 (堀場製作所 理事管理本部副本部長) 森口 真希 氏
08/06	女性活躍推進 大関西会議	＜講演＞ 演題：人口減少する日本と多様化する女性のライフコース 講師：甲南大学 マネジメント創造学部 教授 前田 正子 氏 演題：従業員が実感する女性活躍推進の条件とその効果 講師：関西大学 ビジネスターサイエンス学部 教授 三崎 秀央 氏 演題：女性も男性も誰もが活躍する関西をめざして～関西の女性活躍の現状と可能性～ 講師：追手門学院大学 経済学部 教授 長町 理恵子 氏 ＜トークセッション＞ 講師：三日月 大造 氏(関西広域連合 広域連合長、滋賀県知事)、前田氏、三崎氏、長町氏 ＜特別講演＞ 演題：撮られる側から撮る側へ 講師：織作 峰子 氏 ＜ウーマンズパビリオン in collaboration with Cartierのご紹介＞ 講師：Cartier Japan President & CEO 宮地 純 氏 関西パビリオンとの中継： 関西パビリオン館長 森 健夫 氏
08/22	労働情報講演会	＜講演＞ 演題：外国人材の受入・共生のに向けた動き～育成 就労制度の検討状況を中心に～ 講師：出入国在留管理庁 大阪出入国在留管理局 審査監理官 稲津 年伸 氏
08/28	労働情報講演会(労働関係法令啓発セミナー)	＜講演＞ 演題：労働条件の変更の場における法的ポイントとトラブル事例 講師：関西圏雇用労働相談センター相談員/弁護士(DEPT弁護士法人)田尾 賢太氏 ※大阪府、関西圏雇用労働相談センターと共催

12/15	第4回 関経連D&I フォーラム	<p>&lt;基調講演&gt; 講師：法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授 高田 朝子 氏</p> <p>&lt;パネルディスカッション&gt; パネリスト：関西経済連合会 D &amp; I 専門委員長 柿原 アツ子 氏 積水ハウス ESG 経営推進本部 ダイバーシティ推進部 スペシャリスト 本原 淳子 氏 東京海上日動火災保険 関西エリアサービス部 人事チーム マネージャー 井上 愛 氏 ファシリテーター：ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏</p>
12/18	労働情報講演会	<p>&lt;講演&gt; 演題：企業におけるカスタマーハラスメント対策と適切な労務対応 講師：関西圏雇用労働相談センター相談員／弁護士(梅田総合法律事務所)松山 領 氏</p>
2026/01/21 ～22	2026 関西労使政策フォーラム (関西生産性本部との共催)	<p>テーマ：2026年 日本経済の行方と労使の役割 講師：法政大学 教授 兼 日本総合研究所 客員研究員 山田 久 氏 厚生労働審議官 山田 雅彦 氏 神戸大学大学院 法学研究科 教授 大内 伸哉 氏 他</p>
01/21	山田雅彦厚生労働審議官との 懇談会	テーマ：雇用・労働に関する意見交換
02/13	春季大阪労使会議	<p>&lt;挨拶&gt;連合大阪 会長 井尻 雅之 氏 関西経済連合会 会長 松本 正義 氏</p> <p>&lt;議題&gt; ・要請書手交 ・意見交換 ほか</p>
02/25	人事労務部門ネットワーク	①意見交換：人への投資「多様な成長機会の提供」について ②2026年度開催について
02/26	労働情報講演会	<p>&lt;講演&gt; 演題：障がいのある人とともに働く ～誰もが安心して働ける環境づくり～ 講師：高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部 大阪障害者職業センター 上席障害者職業カウンセラー 清水 聡子 氏</p>
03/05	女性のエンパワーメント交流会	<p>講師：大林組 取締役会長 兼 取締役会議長 大林 剛郎 氏 ファシリテーター：D &amp; I 専門委員会 副委員長 (大阪ガス 執行役員) 門脇 あつ子 氏</p>
03/11	労働政策委員会/D&I専門委員会 スタッフ会議	<p>&lt;議題&gt; ・2026年度委員会運営方針</p>
03/16	メンバーシップ部会 正副部会長会議	<p>&lt;議題&gt; ・2025年度 活動報告 ・2026年度 活動計画案</p>
03/16	労働情報講演会/メンバーシップ 部会	<p>テーマ：中堅・中小企業の支援策 ～人材確保、生産性向上などの施策を中心に～ 講師：大阪府社会保険労務士会 常務理事 油谷 孝行 氏(社会保険労務士) 大三経営事務所 代表取締役 宮地 隆 氏(中小企業診断士)</p>
03/19	労働政策委員会/D&I専門委員会 担当副会長・正副委員長会議	<p>&lt;議題&gt; ・2026年度委員会運営方針</p>
03/30	大阪府社会保険労務士会との 意見交換会	<p>&lt;議題&gt; ・大阪府社会保険労務士会の主な取り組みについて ・関西経済連合会の主な取り組みについて</p>

## ■万博特別委員会

開催日	会合名	内容
2025/11/07	万博特別委員会	<p>&lt;講演&gt; 演題：大阪・関西万博を振り返って (結果報告) 講師：2025年日本国際博覧会協会 事務総長 石毛 博行 氏</p>

## ■委員会など以外の活動

開催日	会合名	内容
2025/04/25 ～26	各地経済団体専務理事会議	大阪・関西万博視察、パートナーズプログラム、専務理事会議 議題：地域経済活性化に向けた各地の取り組みと課題、経団連への期待
05/23	西日本経済協議会 構成団体トップ による万博視察会	
07/10	日本経済団体連合会 首脳との昼食 懇談会	<p>&lt;議題&gt;①貿易・投資立国に向けて ②科学技術立国に向けて ③地方分権・広域行政の推進 ④大阪・関西万博の状況</p>
07/24	SDGsへの貢献につなげる関西マッ チング会 成果報告会 (主催：日本民間公益活動連携機 構、共催：関経連)	休眠預金活用事業の紹介、関西マッチング会における企業とNPO法人等との連携事例のご紹介、パネルディスカッション
07/31	関西広域連合と関西経済連合会と の意見交換会	関西広域連合の機能強化やビジョンの検討、官民連携を強化していく分野などに関する意見交換
08/21	神戸商工会議所との懇談会	<p>議題：①企業・地域における防災の取り組み ②関西におけるDX推進について ③神戸空港に関する動き ④神戸のスポーツ振興に関する動き</p>
10/03	植田和男 日本銀行総裁との懇談会	テーマ：最近の金融・経済情勢について
10/16	西日本経済協議会第67回総会	<p>&lt;テーマ&gt; 共創と広域連携による魅力と活力ある地域の創生 ～西日本が拓く新たな未来～ &lt;記念講演&gt; 演題：我が国の文化政策とコンテンツ産業の振興に ついて 講師：都倉 俊一 文化庁長官</p>
11/04	地域別会員懇談会	京都府・滋賀県下の会員企業を対象に実施
11/10	財務省と関西経済団体との意見交 換会	
12/11	新入会員との懇談会	出席者：法人会員 10法人のうち9法人 パートナー会員 3社のうち3社
2026/01/05	令和8年大阪新年互礼会	大阪府・市、経済界等より約2,000名が出席
01/09	年頭会員懇親パーティー	会員約490名が出席
01/22	関西広域連合と関西経済界との意 見交換会	関西の課題に関する意見交換
02/05～06	第64回関西財界セミナー	<p>&lt;テーマ&gt; 新たなステージへの挑戦～関西が描く持続可能な未 来社会～ &lt;分科会討議&gt; 第1分科会：いのち輝く日本のビジョン～万博を終 えて社会実装を考える～ 第2分科会：KANSAIブランド確立に向けたポスト 万博における新たな観光とまちづくり 第3分科会：人口減少を見据えた新しい社会・経済 の形 第4分科会：外国人材の受け入れ・活躍と地域社会 との共生を考える 第5分科会：AI競争時代を生き抜くために～AI社会 における国家・企業の戦略～ 第6分科会：スポーツで育む企業価値と地域のさら なる発展</p> <p>&lt;基調講演&gt; 演題：万博と未来社会 講師：大阪大学大学院基礎工学研究科 教授・栄誉教授 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博) テーマ事業プロデューサー AVITA 代表取締役社長CEO/CTO 石黒 浩 氏</p> <p>&lt;特別講演&gt; 演題：スポーツにみるリーダーシップと地域振興 講師：スポーツジャーナリスト、 スポーツコミュニケーションズ 代表取締役 二宮 清純 氏</p>
03/12	国の出先機関長と関経連正副会長 との懇談会	<p>議題：①2025年度の当会の主な取り組み ②各局の政策、トピックスについて</p>
03/16	京都経済界との懇談会	<p>議題：①スポーツに関する取り組み ②北陸新幹線に関する取り組み ③京都経済4団体の新たな取り組みについて</p>

■大阪・関西万博関連行事

開催日	会合名	内容
2025/04/04 ～06	大阪・関西万博テストラン	・博覧会協会からの依頼に基づき、当会会員企業(申し込み先着200社)を招待
04/04	大阪・関西万博の大屋根リングの活用に関する検討実務者会合(第1回)	
04/12	2025年日本国際博覧会 開会式	・天皇皇后両陛下、秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えし、国、自治体、公式参加者、経済界、関係者が出席
04/13	テープカット式典	・松本会長が陳列区域日本政府代表として参加
04/13	中国館開館式	<出席者> 松本会長 等
04/13	韓国館開館式	<出席者> 松本会長 等
04/14	BIEケルケンツェス事務局長との夕食懇談会	
04/14	トルクメニスタンナショナルデー	<出席者> セルダル・ベルディムハメドフ大統領 金花副会長 等
04/19	グレナダナショナルデー	<出席者> ジョセフ・アングル グレナダ外務貿易輸出開発大臣、鈴木俊行国際委員会副委員長 等
04/22	スイス副大統領を迎えるの午餐会	<出席者> パルラン副大統領夫妻 関西エアポート 代表取締役社長CEO 山谷 佳之氏 等
04/22	オランダ館オープニングセレモニー	<出席者> ディック・スホーフ首相 関専務理事 等
04/24	デンマーク国王陛下をお迎えするの午餐会	<出席者> フレデリック国王陛下 小川国際交流担当委員長 等
04/24	大阪・関西万博の大屋根リングの活用に関する検討実務者会合(第2回)	
05/02	大阪・関西万博の大屋根リングの活用に関する検討会(第1回)	<議題> とりまとめ(案)について <出席者> 武藤 容治 経済産業大臣(代理 茂木 正 経済産業省首席国際博覧会統括調整官) 吉村 洋文 大阪府知事 横山 英幸 大阪市長 十倉 雅和 日本経済団体連合会会長兼2025年日本国際博覧会協会会長 松本 正義 関西経済連合会会長 鳥井 信吾 大阪商工会議所会頭 宮部 義幸 関西経済同友会代表幹事 石毛 博行 2025年日本国際博覧会協会事務総長
05/08	北京イベントウィーク開幕式	<出席者> 森島国際委員会副委員長 等
05/14	スウェーデンビジネスサミット	<出席者> カール16世グスタフ国王、ベンジャミン国際開発協力・外務貿易大臣、ジェイコブスウェーデン経済連盟会長 松本会長 等
05/14	スウェーデンナショナルデーレセプション	<出席者> カール16世グスタフ国王、ベンジャミン国際開発協力・外務貿易大臣、ジェイコブスウェーデン経済連盟会長 松本会長 等
05/19	パラグアイ大統領夫人主催イベント「Kuña Guapa クニャ・グアパ」	<出席者> レティシア・オカンポス パラグアイ大統領夫人 岡D&I専門委員会副委員長、松久D&I専門委員会副委員長、森口D&I専門委員会副委員長 等
05/20	ラトビアナショナルデー	<出席者> エドガルス・リンケビッチ大統領 高濱国際委員会副委員長 等
05/21	オランダナショナルデー・レセプション	<出席者> ウィレム=アレクサンダー国王陛下 松本会長 等
05/21	オランダと関西のCEOラウンドテーブル会議	<出席者> ウィレム・アレクサンダー国王 松本会長、船山国際委員会副委員長、十時国際委員会副委員長 等
05/22	英国ナショナル・デー午餐会、National Day Reception and Concert	<出席者> リサ・ナンティ英国文化・メディア・スポーツ大臣 松本会長 等
05/30	在日フランス政府対外貿易顧問委員会レセプション	<出席者> フィリップ・セトン駐日フランス大使 関西エアポート 代表取締役社長CEO 山谷 佳之氏 等
06/03	大阪・関西万博の大屋根リングの活用に関する検討会(第2回)	<議題> 残された論点の確認 <出席者> 武藤 容治 経済産業大臣(代理 茂木 正 経済産業省 首席国際博覧会統括調整官) 吉村 洋文 大阪府知事 横山 英幸 大阪市長 十倉 雅和 日本経済団体連合会会長兼2025年日本国際博覧会協会会長 松本 正義 関西経済連合会会長 鳥井 信吾 大阪商工会議所会頭 石毛 博行 2025年日本国際博覧会協会事務総長
06/19	ベルギー・フランダース政府主催大阪ハイレベル昼食会	<出席者> ディエバンダール フランダース政府首相 岡国際委員会副委員長 等
06/20	ドイツナショナルデー	<出席者> フランク=ヴァルター・シュタインマイヤー ドイツ連邦大統領 松本会長 等
06/23	大阪・関西万博の大屋根リングの活用に関する検討会(第3回)	<議題> 1. 各者からの提案・意見 2. 大屋根リングの一部残置等について(案) <出席者> 武藤 容治 経済産業大臣(代理 茂木 正 経済産業省 首席国際博覧会統括調整官) 吉村 洋文 大阪府知事 横山 英幸 大阪市長 十倉 雅和 日本経済団体連合会会長兼2025年日本国際博覧会協会会長 松本 正義 関西経済連合会会長 鳥井 信吾 大阪商工会議所会頭 三笠 裕司 関西経済同友会代表幹事 石毛 博行 2025年日本国際博覧会協会事務総長
06/23	2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)を成功させる国会議員連盟 総会	<開会挨拶> 井上 貴博 事務局長 <会長挨拶> 森山 裕 会長 <来賓挨拶> 吉村 洋文 大阪府知事 横山 英幸 大阪市長 十倉 雅和 日本経済団体連合会会長兼2025年日本国際博覧会協会会長 松本 正義 関西経済連合会会長 <報告> 石毛 博行 2025年日本国際博覧会協会事務総長 <講演> 藤本 壮介 2025年日本国際博覧会会場デザインプロデューサー
07/03	ジャパンデー	・松本会長が陳列区域日本政府代表として、秋篠宮皇嗣同妃両殿下との午餐会に出席 ・松本会長が陳列区域日本政府代表として、公式式典にて開会の辞を述べた
07/03	アイルランド首相来阪レセプション	<出席者> マイケル・マーティン首相 鈴木博之国際委員長 等
07/11	中国ナショナルデー	<出席者> 松本会長 等
07/19	アメリカナショナルデー	<出席者> スコット・ベッセント代表団団長(米国財務長官)、ジョージ・グラス駐日米国大使、ロリ・チャベス=デレマー-米国労働長官、クリストファー・ランドー-米国国務副長官、ウィリアム・E・グレイソン2025国際博覧会米国パビリオン代表(大使) 赤澤亮正経済再生担当大臣、中曽根弘文日米国会議員連会長(参議院議員)、羽田浩二2025年日本国際博覧会政府代表、十倉雅和2025年日本国際博覧会協会会長(日本経済団体連合会名誉会長)、松本会長 等
07/31	英国の産業戦略に関する懇談会	<出席者> キャロリン・デービッドソン/2025年国際博覧会英国陳列区域政府代表、マイケル・プライス在大阪英国総領事 鈴木博之国際委員長 等
08/08	大阪・関西万博の大屋根リングの活用に関する検討実務者会合(第3回)	
08/15	インドナショナルデー公式行事	<出席者> シビ・ジョージ駐日大使 松本会長 等
08/20	タイナショナルデーイベント「タイナイト」	<出席者> スリヤ・ジュンルンアンキット 副首相兼運輸大臣 ウィッチュー・ウェチャーチーワ 駐日タイ王国特命全権大使 アッカラボン・チャルムノン 駐大阪タイ王国総領事 松本会長 等
08/23	関西・アフリカビジネスフォーラム	1. 開会挨拶 2. 大阪・関西企業のアフリカ事業紹介 3. 水素・再生エネルギー分野の取り組み、事業見直し 4. アフリカ側挨拶 5. 閉会挨拶
08/23	Blue Africa Night Reception in Osaka 2025(セリ・ジャパン主催、荻川平和財団共催)	<出席者> 松本会長 等
08/24	シンガポールナショナルデー	<出席者> リー・シェンロン 上級大臣 ザキー・ビン・モハマド 上級国務大臣 チュア・スウィー・レオン、エリック 法務・社会・家族開発担当上級政務次官 オン・エン・チュアン 在日シンガポール共和国大使館 大使 ブン・チョン・ブン シンガポール経済開発庁長官 等 林 芳正 内閣官房長官 河野 太郎 日・シンガポール友好協議会 羽田 浩二 2025年日本国際博覧会政府代表 石毛 博行 2025年日本国際博覧会協会事務総長 松本会長 等
08/25	セネガルビジネスフォーラム	<出席者> 松本会長 等
08/28	大阪・関西万博の大屋根リングの活用に関する検討実務者会合(第4回)	
09/03	オーストラリアナショナルデー	<出席者> サム・モスティンAC オーストラリア連邦総督 ジャスティン・ヘイハースト 駐日オーストラリア大使、ナンシー・ゴードン EXPO政府代表 伊東良孝国際博覧会担当大臣、藤井比早之外務副大臣、羽田浩二2025年日本国際博覧会政府代表、松本会長 等
09/06	BIEケルケンツェス事務局長との夕食懇談会	

09/09	ベトナムナショナルデー	<出席者> レ・タイン・ロン 副首相 グエン・ヴァン・フン 文化・スポーツ・観光大臣 ファム・クワン・ヒエウ 駐日ベトナム社会主義共和国大使 ゴー・チン・ハー 駐大阪ベトナム総領事 グエン・フオン・ホア ベトナムパビリオン政府代表等 承子(つくこ) 女王殿下 吉賀 友一郎 内閣府副大臣 小淵 優子 日本・ベトナム友好議員連盟 会長 (衆議院議員) 羽田 浩二 2025年日本国際博覧会 政府代表 吉村 洋文 大阪府知事 横山 英幸 大阪市長 山下 真 奈良県知事 加藤 誠一 滋賀県議会副議長 松本 正義 2025年日本国際博覧会協会副会長 (関西経済連合会会長) 等
09/13	フランスナショナルデー	<出席者> ロラン・サン＝マルタン 対外貿易・対外仏人担当大臣、フィリップ・セットン 駐日フランス大使 松本尚外務大臣政務官、山谷えり子 参議院日仏友好議連会長、自見はな子 元国際博覧会担当大臣、羽田浩二 2025年日本国際博覧会政府代表、松本会長 等
09/16	大阪・関西万博に関する関係者会合	<議題> 大阪・関西万博についての報告 <出席者> 石破 茂 内閣総理大臣 林 方正 内閣官房長官 伊東 良孝 国際博覧会担当大臣 武藤 容治 経済産業大臣 中野 洋昌 国土交通大臣 英利 アルフィヤ 外務大臣政務官 橘 慶一郎 内閣官房副長官 青木 一彦 内閣官房副長官 佐藤 文俊 内閣官房副長官 吉村 洋文 大阪府知事 横山 英幸 大阪市長 十倉 雅和 日本経済団体連合会名誉会長兼 2025年日本国際博覧会協会副会長 松本 正義 関西経済連合会会長 石毛 博行 2025年日本国際博覧会協会事務総長
09/16	大阪・関西万博の大屋根リングの活用に関する検討会(第4回)	<議題> 1. 大阪府・大阪市からの提案 2. 大屋根リングの一部残置等について(とりまとめ) <出席者> 加藤 明良 経済産業大臣政務官 茂木 正 経済産業省首席国際博覧会 統括調整官 吉村 洋文 大阪府知事 横山 英幸 大阪市長 十倉 雅和 日本経済団体連合会名誉会長兼 2025年日本国際博覧会協会副会長 松本 正義 関西経済連合会会長 鳥井 信吾 大阪商工会議所会頭 石毛 博行 2025年日本国際博覧会協会事務総長ほか
09/22	英国エディンバラ侯爵殿下をお迎えした午餐会	<出席者> エディンバラ公爵殿下、松本会長 等
09/23	サウジアラビアナショナルデー	<出席者> 松本会長 等
10/07	大阪・関西万博 感謝と交流のつどい(大阪府、大阪市主催)	・万博への参加国・国際機関関係者に対し、開催地の自治体として謝意を伝えるとともに各国・国際機関との関係発展を祈念するため開催 ・松本会長が乾杯発声
10/08	EXPOビジネスフォーラム「大阪・関西万博未来へのレガシー」(テレビ大阪、日本経済新聞社主催)	<基調講演> 演題: EXPO2025への思いと関西の飛躍に向けて ～万博レガシーの創出・継承を見据えて～ 講師: 関西経済連合会 会長 松本 正義 氏 ※その他、吉村洋文大阪府知事、万博関係者等が参加してのトークセッション等を実施
10/10	2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)を成功させる国会議員連盟総会	<開会挨拶> 井上 貴博 事務局長 <会長挨拶> 森山 裕 会長 <来賓挨拶> 二階 俊博 前会長 吉村 洋文 大阪府知事 横山 英幸 大阪市長 松本 正義 関西経済連合会会長 藤原 紀香 日本館名誉館長 <報告> 石毛 博行 2025年日本国際博覧会協会事務総長
10/12	BIEデー	・表彰セレモニーにて「万博の成功に顕著に貢献した団体」として関経連がBIEゴールド・メダルを受賞 ・カクテルレセプションで松本会長が乾杯挨拶
10/13	中国館閉幕式	<出席者> 松本会長 等
10/13	大阪・関西万博宣言フォーラム	公式参加者代表らによるパネルディスカッション、「大阪・関西万博宣言」の手交等を実施
10/13	「万博おばあちゃん」こと山田外美代氏への感謝状授与セレモニー	万博おばあちゃん こと 山田 外美代 氏 関西経済連合会 会長 松本 正義 氏
10/13	2025年日本国際博覧会 閉会式	秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えし、国、自治体、公式参加者、経済界、関係者が出席
10/14	大阪・関西万博「歩みを共にしたみなさまへの感謝の集い」(2025年日本国際博覧会協会主催)	2025年日本国際博覧会協会より、万博の参加国やパビリオン出展、寄附、協賛等で貢献いただいた企業・団体に謝意を伝えるため開催
11/15	大阪パビリオン推進委員会委員総会・感謝の集い	
11/20	関西プレスクラブ 定例会 講演	<講演> 演題: EXPO2025への思いと関西の飛躍に向けて ～万博レガシーの創出・継承を見据えて～ 講師: 関西経済連合会 会長 松本 正義 氏

12/25	第1回2025年日本国際博覧会 成果検証委員会	<議題> 1. 成果検証委員会について 2. 大阪・関西万博の成果について 3. その他 <委員等> 十倉 雅和 2025年日本国際博覧会協会会長 池坊 専好 華道家元池坊次期家元 五神 真 理化学研究所理事長 佐野 真由子 京都大学大学院教授 西尾 章治郎 国際高等研究所所長 藤本 壮介 大阪・関西万博会場デザイン プロデューサー 藤原 紀香 日本館名誉館長 宮地 純 リシュモンジャパンカルティエプレジデント&CEO 山極 壽一 総合地球環境学研究所所長 吉村 洋文 大阪府知事 横山 英幸 大阪市長 松本 正義 関西経済連合会会長 鳥井 信吾 大阪商工会議所会頭 小林 健 日本商工会議所会頭 國部 毅 2025年日本国際博覧会協会 財務委員会委員長 石毛 博行 2025年日本国際博覧会協会 事務総長
2026/02/27	第2回2025年日本国際博覧会 成果検証委員会	<議題> 1. 第1回委員会の議論を踏まえた事務局報告 2. 大阪・関西万博のレガシー展開(案)に関する討議

## ■総会・理事会・評議員会

開催日	会合名	内容
2025/04/07	評議員会	演題: 金融都市・大阪 ～江戸時代経済における大阪の位置づけ～ 講師: 神戸大学 経済経営研究所 准教授 高橋 泰郎 氏
04/22	評議員会	演題: 健康資産という新しい価値 ～バイオ年齢とウェルビーイングの見える化～ 講師: 近畿大学アンチエイジングセンター 創設者、日本抗加齢医学会 理事長 山田 秀和 氏
04/22	第1回理事会	<審議> 第1号議案 会員入会の件 第2号議案 2024年度事業報告の件 第3号議案 2024年度決算の件 第4号議案 第63回定時総会の開催及び提出議案の件 第5号議案 第63回定時総会における議決権行使の方法の件 <報告> ①法人会費改定について ②特定資産運用管理状況について
05/12	評議員会	演題: ドイツから考える～欧州の経済社会の行方～ 講師: 在独ジャーナリスト 熊谷 徹 氏
05/26	第63回定時総会	<審議> 第1号議案 定款変更の件 第2号議案 会費1口の金額改定の件 第3号議案 理事選任の件 第4号議案 監事選任の件 <報告> ①2024年度事業報告 ②2025年度事業計画 ③2024年度決算 ④2025年度収支予算 <記念講演> 演題: 「またトラ」の世界と日米関係 講師: 同志社大学 法学部 政治学科 教授 村田 晃嗣 氏
05/26	第2回理事会	<審議> 第1号議案 会長(代表理事)選定の件 第2号議案 副会長選定の件 第3号議案 副会長の順位の件 第4号議案 専務理事(代表理事)選定の件 第5号議案 業務を執行する理事の選定並びに常務理事委嘱の件 第6号議案 相談役、特別顧問及び顧問委嘱の件 第7号議案 事務局長委嘱の件 第8号議案 会員入会の件 第9号議案 会費規程変更の件 <報告> 評議員会議長委嘱の件
06/09	評議員会	演題: 高屋重三郎の経営哲学を考える 講師: 中央大学 文学部 教授 鈴木 俊幸 氏
06/23	評議員会	演題: どこへ行く日本政治 ～石破政権は長続きするか～ 講師: 政治ジャーナリスト 青山 和弘 氏
07/07	評議員会	演題: 世界はどうなる? 講師: 日興リサーチセンター 理事長 山口 廣秀 氏
07/22	評議員会	演題: 最近の内外経済情勢と関西経済 講師: 日本銀行 理事 大阪支店長 正木 一博 氏
07/22	第3回理事会	<審議> 第1号議案 会員入会の件 <報告> 代表理事と業務執行理事の職務執行の状況について ①2025年度第1四半期の事業活動について ②会員異動について
08/04	評議員会	演題: 大阪・関西万博の現状と後半の見どころ 講師: 2025年日本国際博覧会協会 理事 副事務総長 高村 淳 氏

09/08	評議員会	演題：歴史ある関西で紡ぐ物語 講師：作家 澤田 瞳子 氏
09/19	評議員会	演題：ロボット技術と未来社会 講師：千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター 所長 古田 貴之 氏
10/06	評議員会	演題：認知症研究と診療の最前線 講師：大阪公立大学大学院 医学研究科 教授 樋口 真人 氏
10/27	評議員会	演題：食料安全保障と農業政策 講師：キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹 山下 一仁 氏
11/10	評議員会	演題：インフラ政策転換の時代 講師：政策研究大学院大学 特別教授 家田 仁 氏
11/25	評議員会	演題：国際秩序の変容と日本 ～大阪・関西万博が拓く新たな可能性 講師：政府代表・特命全権大使(関西担当) 2025年日本国際博覧会 政府代表代理 三澤 康 氏
11/25	第4回理事会	<審議> 第1号議案 会員入会の件 <報告> (1)上期決算について (2)特定資産運用管理状況について (3)代表理事と業務執行理事の職務執行の状況につ いて ①2025年度第2四半期の事業活動について ②会員異動について
12/08	評議員会	演題：本気で、月面1万人都市の建設を目指して 講師：大阪大学 接合科学研究所 所長 藤井 英俊 氏
12/22	評議員会	演題：未来も輝く関西のポテンシャル ～危機を乗り越えてきた先人たちに学ぶ～ 講師：作家 玉岡 かおる 氏
2026/01/19	評議員会	演題：2026年の世界・日本経済の展望 ～転換期の世界における日本の進路～ 講師：三菱総合研究所 常務研究理事 武田 洋子 氏
02/24	評議員会	演題：異常気象の未来予測 ～「二季」へ向かう日本、なぜ?～ 講師：三重大学大学院 生物資源学研究所 教授 立花 義裕 氏
03/10	評議員会	演題：AIが拓く生成科学 講師：京都大学大学院 理学研究科 教授 橋本 幸士 氏
03/23	評議員会	演題：羽柴秀長～天下人秀吉を支えた弟～ 講師：東洋大学 文学部 非常勤講師 柴 裕之 氏
03/23	第5回理事会	<審議> 第1号議案 会員入会の件 第2号議案 2026年度事業計画の件 第3号議案 2026年度予算の件 第4号議案 特定資産の目的外取崩しの件 <報告> ①会員異動について

## ■ 会員異動

		2025年4月1日	入会	退会	2026年3月31日
社員会員	法人会員	590	10	4	596
	団体会員	138	0	0	138
	個人会員	26	3	5	24
	特別会員	100	32	15	117
	合 計	854	45	24	875
パートナー会員		465	3	7	461

## ■意見書

- 2025/07/17 関西広域連合『第6期広域計画』策定に向けて  
08/07 関西創生のための高速道路ネットワークの早期整備に関する要望  
08/26 防災庁地方拠点設置に係る要望  
10/16 西日本経済協議会 第67回総会決議  
10/23 関西広域リージョン連携宣言  
10/24 関西創生のための高速道路ネットワークの早期整備に関する要望  
10/30 健全で持続的な成長へつながる税財政・社会保障制度に関する提言～財政健全化と分厚い中間層の形成に向けて～  
11/21 高市新内閣に望む  
12/18 企業と労働市場の関係性の変化を踏まえた雇用・労働政策に関する意見  
12/24 外国人材の受け入れ・活躍および地域社会との共生に関する提言  
2026/02/09 関西広域リージョン連携ビジョン  
03/06 コーポレートガバナンス・コード改訂に向けた考え方  
03/13 関西広域リージョン連携ビジョン

## ■会長コメント

- 2025/04/13 2025年大阪・関西万博開幕に関するコメント  
05/07 角副会長 ご逝去に関するコメント  
05/26 第63回定時総会 松本会長ご挨拶  
06/13 「骨太の方針」・「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2025年改訂版」・「地方創生2.0基本構想」の閣議決定に関するコメント  
07/21 参議院議員選挙の結果に関するコメント  
07/23 米国との関税交渉の合意に関するコメント  
09/07 石破首相の辞意表明に関するコメント  
09/07 阪神タイガース リーグ優勝に関するコメント  
10/04 自民党総裁決定に関するコメント  
10/06 大阪大学・坂口特任教授、ノーベル生理学・医学賞受賞に関するコメント  
10/08 京都大学・北川特別教授、ノーベル化学賞受賞に関するコメント  
10/13 2025年大阪・関西万博開幕に関するコメント  
10/21 高市首相選出に関するコメント  
11/21 総合経済対策の閣議決定に関するコメント  
12/19 令和8年度与党税制改正大綱に関するコメント  
12/26 2026年度政府予算案の閣議決定に関するコメント  
2026/01/01 年頭所感  
01/19 2026年春季労使交渉にあたってのお願い  
02/09 衆議院議員総選挙の結果に関するコメント  
02/09 大阪府知事および大阪市長選挙結果に関するコメント  
02/18 第2次高市内閣発足に関するコメント

## ■報告書

- 2025/05/30 「人への投資」に関する報告書～企業と個人がともに成長する関係性の構築に向けて～  
「人への投資」に関する企業事例集  
06/27 D&Iを全社課題へ変える～「トップコミットメントの浸透」に向けたポイントと企業事例にみる工夫～  
2026/01/18 第15回関西3空港懇談会 報告  
02/12 2026年賃金改定に関するアンケート調査結果  
03/25 関西における空飛ぶクルマの将来ビジョン

## ■運営体制の充実を図るための取組

### 1. 外部理事・監事の選任

当会では、公益法人の運営に求められる透明性の向上、ガバナンスの充実の観点から適切な経験と専門性を有する者を外部理事・監事として選任している。選任にあたっては、現在および過去10年間に於いて当会の業務執行理事や使用人（社員）でないことを条件としている。

主な専門分野は以下のとおりである

財務・会計分野: 公認会計士、税理士

法務分野: 弁護士

### 2. 外部理事・監事の役割遂行支援

外部理事・監事が独立した立場から適切な助言・監視機能を発揮できるよう、情報提供および支援体制を整備している。

## ■附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項は無いため、内容の記載を省略している。

詳細につきましてはホームページをご覧ください。

<https://www.kankeiren.or.jp/>





公益社団法人 関西経済連合会